

平成29年度

和歌山市立博物館館報

No.33

目 次

I 事業概要

1. 展観事業

常設展示	2
春季企画展	2
夏季特別展	4
秋季特別展	8
冬季企画展	10
ホール展示	11
コーナー展示	11

2. 教育普及事業

史跡散歩	12
体験学習	12
講座等	13
回想法プログラム	13
博物館実習	14
ミュージアムボランティア	14
職場体験	14
ウェブサイト	14

3. 調査研究事業

職員の執筆文献	15
職員の教育普及活動	16

4. 市史資料管理事業 16

II 収蔵資料概要

1. 購入資料概要	17
2. 受贈資料概要	17
3. 受贈図書概要	18
3. 資料の貸出	31
4. 映像資料概要	31

III 平成30年度の展望

1. 平成30年度事業予定概要	32
2. 平成30年度博物館当初予算	34

IV 資料

入館者の動向	34
アンケートの集計	36
館機構	37
博物館職員	37
和歌山市立博物館協議会委員名簿	37
和歌山市立博物館条例	38
和歌山市立博物館条例施行規則	40

事業概要

1. 展観事業

○常設展示

1階の常設展示室(約1,000㎡)では、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマとして、原始・古代・中世・近世・近代・民俗の6つのコーナーに分け、それぞれに関連資料を展示している。

各コーナーでは、随時資料の展示替えを行っている他に、民俗及び近世部門の一部の展示ケースを利用して「コーナー展示」を定期的に実施している。

○春季企画展

「紀州の風景 —和歌の浦を中心に—」

〈開催期間〉4月22日(土)～6月4日(日)

〈開催日数〉37日

〈入館者数〉1,434名



〈開催趣旨〉

紀州を^{えが}いた絵図には、和歌浦などをえがいた名所絵をはじめ、海岸や山地などさまざまな景勝地を画いた絵図、寺社などの案内図や見取絵図、土地の支配や管理のために作成された絵図などが

残されている。博物館では、紀州関係の絵図や地図を中心として、長年にわたって収集し、保存してきた。

今回の企画展では、こうした絵図・地図を海岸・寺社・城下町に分けて展示し、それらが何の目的で、何を^{えが}こうとしたのかを解明しようとした。

〈展示構成〉

- I. 和歌の浦
- II. 紀州の海岸
- III. 紀州の寺院と神社
- IV. 紀州藩の城下町

〈講演会〉

5月20日(土) 午後2時～3時30分

「和歌浦と紀州の風景」 額田 雅裕 (当館館長)

〈展示解説〉

4月22日(土)・29日(土)・5月5日(祝)・13日(土)・

6月3日(土)

※いずれも午後2時～2時30分

〈展示資料〉

I. 和歌の浦		
No.	作品名	所蔵者
①和歌の浦の絵図		
1	和歌浦図屏風	館蔵
2	和歌浦図屏風	館蔵
3	吹上八景手鑑	玉津島神社蔵
4	名所図画	館蔵
5	和歌浦図 狩野古信筆	玉津島神社蔵
6	和歌浦図 桑山玉洲筆	館蔵
7	玉津島社絵図並和歌名所 竹翁写	館蔵
8	明光浦十景図 岡本緑邨筆	館蔵(寺井富士氏寄贈)
9	吉野和歌浦真景図巻	館蔵
10	和歌浦図巻 笹川遊泉筆	館蔵
11	和歌浦之図(淡彩)	館蔵
12	和歌浦真景名草山登臨之図 淵上旭江写	館蔵
13	久野丹波守和歌浦荘図巻 笹川遊泉筆	館蔵
14	紀州和歌之浦図 岩瀬広隆筆	個人蔵
15	紀州自名草山和歌之浦眺望之図 玄々堂緑山	館蔵
16	紀伊国和歌浦真景 大阪大成館銅版部	館蔵
17	紀伊和歌浦図 塩崎毛兵衛著	館蔵
18	紀伊和歌浦明細新地図 岡田久楠著	館蔵
工芸品		
19	南紀男山焼 染付煎茶茶碗	個人蔵
20	南紀男山焼 染付紀三井寺図水指	館蔵
21	青織部杵形茶碗 銘和歌浦	館蔵

22	偕楽園焼 和歌浦名所図水指	個人蔵
23	徳川治宝下賜和歌浦尽硯箱	館蔵
錦絵		
24	六十余洲名所図会 紀伊和歌之浦 歌川広重画（前期）	個人蔵
25	諸国六十八景 紀伊和歌之浦 二 代広重画（後期）	館蔵
26	日本三景之内紀州和歌之浦之勝景 五雲亭貞秀画（前期）	館蔵
27	日本三景之内紀州和歌之浦之勝景 （後刷） 五雲亭貞秀画（後期）	館蔵
28	紀州若の浦 本吉版（前期）	館蔵
29	今様源氏 紀伊和歌之浦風景（後 期） 歌川房種画	館蔵
30	日本地誌略図 和歌の浦（前期） 三代広重画	館蔵
31	府県名所図会 和歌山県紀伊和歌 の浦（後期） 三代広重画	館蔵
②不老橋		
32	南紀男山焼 染付和歌浦不老橋絵 鉢 光川亭仙馬画	館蔵
33	紀州和歌浦絵図	館蔵
34	紀州和歌浦絵図	館蔵
35	不老橋親柱	
③紀三井寺		
36	紀三井寺参詣曼荼羅（複製）	館蔵（原本は 紀三井寺）
37	紀州名草郡紀三井山護国院金剛寶 寺 勝本寛山	館蔵
38	紀州名草郡紀三井山護国院金剛寶 寺 桜井一清堂	館蔵
39	西国三十三番札所観音靈驗記 第 二番紀三井寺 二代広重・三代豊 国画（前期）	館蔵
40	観音靈驗記 第二番紀三井寺 二 代広重・三代豊国画（後期）	館蔵
④和歌祭		
41	東照社縁起 巻五 住吉広通筆 （複製）	館蔵（原本は 東照宮）
42	わかまつり絵巻	館蔵
43	和歌祭行列之図	個人蔵
44	団扇絵 和歌祭図・渡御之図・御 関船之図 岩瀬広隆筆	個人蔵
45	四月十七日和歌御祭行列次第 和 歌浦勝景之図 西村中和筆	個人蔵
46	紀伊国和歌浦御祭礼絵図 平安長 秀写	館蔵
47	紀伊国和歌浦御祭礼渡御絵図 和 歌浦浪静堂板	館蔵
48	和歌御祭礼図屏風 坂井芳泉筆	館蔵（上野山 永一氏寄贈）
49	雑賀踊図 岩瀬広隆筆	館蔵
50	和歌雑賀祭図 坂井芳泉筆	館蔵
51	和歌祭図（餅搗踊）野際蔡春画	個人蔵
⑤地誌と観光		
52	和歌名所記 星運堂 花屋久次郎 板	館蔵
53	和歌浦名所記	館蔵
54	『紀伊国名所図会』巻之二	館蔵

55	和歌之浦公園景 三木甲子郎編 （前期）	館蔵
56	和歌之浦公園景 弓場秀太郎編 （後期）	館蔵
57	和歌浦名所交通案内鳥瞰図 吉田 初三郎著	館蔵
58	新和歌浦名所交通鳥瞰図 吉田初 三郎著	館蔵
59	和歌浦名所絵葉書	館蔵
Ⅱ．紀州の海岸		
①紀州の海岸		
1	官版実測日本地図 伊能忠敬	館蔵
2	紀伊国海岸之図	個人蔵
3	伊勢紀伊五郡精図	館蔵
②加太・友が島		
4	紀州高野山刈加太越讃州金毘羅近 道略図	館蔵
5	紀伊国加太浦淡島神社図	館蔵
6	諸国名所百景紀州加太の浦真景 二代歌川広重画（後期）	館蔵
7	東海道名所之内紀州加太浦 二代 歌川広重画（前期）	館蔵
8	伽陀寺友ヶ島行場絵図	個人蔵
③海図と海防図		
9	大日本籌海全図・大日本籌海図誌 全 山本伊三郎著	館蔵
10	御城下近海御台場ノ図	館蔵
11	友ヶ島海防図（沖ノ島・地の島）	館蔵
12	外浜御台場之図	館蔵
④熊野浦		
13	紀州熊野浦海岸図	館蔵
14	紀州熊野浦大嶋湊細見略図 森川 順光写	館蔵
15	浮絵熊野浦鯨突之図 歌川豊春画 （前期）	館蔵
16	山海名産尽 紀州鯨 歌川国芳画 （後期）	館蔵
Ⅲ．紀州の寺院と神社		
①巡礼と道中図		
1	西国三十三ヶ所方角	館蔵
2	西国三十三番札所観音霊場記図会	館蔵
3	改正増補大日本順路明細記大成	館蔵
4	自紀州至伊勢京大坂巡見画図	館蔵
5	紀州那賀郡田中荘竹房阿字観音山 新八拾八ヶ所細見之絵図	館蔵
②高野山		
6	高野山細見絵図 橘保春画	個人蔵
7	高野八景	館蔵
8	高野山之図	館蔵
9	石塔案内高野山奥之院図 山城屋 茂八版 探舟画	館蔵
10	参詣要覧高野山名所図会 吉田初 三郎画	館蔵
11	高野山全景図 西村中和画	個人蔵
12	紀伊高野之玉河 歌川広重画（前 期）	館蔵
13	紀伊高野之玉河 歌川広重画（後 期）	館蔵

③粉河寺・根来寺		
14	粉河寺伽藍絵図 松花堂	館蔵
15	粉河寺略縁起并霊験記	館蔵
16	観音霊験記 第三番粉河寺 二代 広重・三代豊国画 (前期)	館蔵
17	西国三十三番札所観音霊験記 第 三番粉河寺 二代広重・三代豊国 画 (後期)	館蔵
18	メルカトル世界図	館蔵
④道成寺		
19	紀伊国日高郡道成寺略図	館蔵
20	道成寺縁起	館蔵
21	娘道成寺 歌川国貞画 (前期)	館蔵
22	京鹿子娘道成寺 三代歌川豊国画 (後期)	館蔵
⑤熊野三山		
23	熊野縁起絵巻	館蔵
24	日本第一熊野那智御山絵図	館蔵
25	那智三瀑図 野呂介石筆	館蔵
26	那智三瀑図 野際白雪筆	館蔵
27	那智滝図 笹川遊原筆	館蔵
28	高雄の文覚紀伊国那智山諾大滝籠 大願荒行之図 三代歌川豊国 (前 期)	館蔵
29	那智滝文覚荒行 豊原国周画 (後 期)	館蔵
30	台山跡歴略記 野呂介石筆	館蔵
31	御熊野絵図 岩瀬広隆画	館蔵
⑥温泉と観光		
32	南紀ノ絶勝熊野名所交通鳥瞰図 吉田初三郎著	館蔵
33	国立公園熊野鳥瞰図 吉田初三郎 著	館蔵
34	景勝之和歌山全縣鳥瞰図	館蔵
35	西国三十三所名所図会 卷之二	館蔵
36	和歌山県紀伊国熊野湯ノ峯村温泉 場之図	館蔵
37	白浜湯崎温泉鳥瞰図 吉田初三郎 著	館蔵
38	紀州西牟婁郡瀬戸鉛山温泉図	個人蔵
Ⅳ. 紀州藩の城下町		
①和歌山		
1	和歌山屋敷絵図	館蔵
2	和歌山安見図	館蔵
3	此度丁名相増又相改候略図	館蔵
4	和歌山城下町絵図 野際蔡真筆 (複製)	館蔵
5	紫藤園絵図 堀田龍之助筆	館蔵
6	和歌山城山中本陣絵図	館蔵
7	栗林八幡宮参拝御行列図	館蔵
8	徳川宗将奉納芦原葉師如来縁起	葉徳寺蔵
9	西浜御殿舞楽之図	館蔵
10	天保風俗画	館蔵
11	賑耀之図 岩瀬広隆筆	館蔵
12	夏踊図 笹川遊原筆	個人蔵
13	濱遊図 笹川遊原筆	館蔵
14	『紀伊国名所図会』卷之一	館蔵
15	昌平河岸納涼夜店の図	館蔵

②田辺		
16	紀州田辺藩城下図 明治2年調	館蔵
17	田辺錦水城絵図	館蔵
18	昭和4年南紀行幸経路図	館蔵
19	南方熊楠書簡 毛利柴庵宛	館蔵
③新宮・松坂		
20	新宮城之図	個人蔵
21	伊勢国松坂城下地図	館蔵

※会期中、一部展示替えを行った。

○夏季特別展
「美尽し善極める
一駿河屋の菓子木型一」

〈開催期間〉 7月22日（土）～8月27（日）

〈開催日数〉 32 日

〈入館者数〉 1,983 名



〈開催趣旨〉

江戸時代より和歌山城下で商う菓子商・駿河屋。寛正2年(1461)に初代・岡本善右衛門が京都の伏見に饅頭処「鶴屋」を開店したことから、その歴史が始まったといわれる。紀州徳川家との関わりは深く、初代・徳川頼宣のころまでさかのぼる。頼宣がその菓子を気に入ったことで、江戸時代のはじめには和歌山の駿河町に店舗を置くこととなる。以来江戸時代を通じて、駿河屋は紀州徳川家の菓子の御用を引き受けた。10代藩主・徳川治宝、11代藩主・斉順のころには、菓子木型を用いた

押し物（落雁）の注文が盛んで、和歌浦の風景や文芸作品をモチーフとした駿河屋の落雁は「美尽し善極めたる前後無比の良品」であったといい、藩主の贈答品に用いられた。

本展覧会では、江戸後期に使われていた駿河屋の菓子木型や菓子の絵手本を一堂に集め、その造形美や背景にある藩主たちの文化的な素養などを紹介するとともに、当時の和歌山の菓子文化について展示した。

〈展示構成〉

- 1 和歌山と砂糖
- 2 紀州藩と駿河屋
- 3 駿河屋の菓子木型
- 4 城下町和歌山の菓子受容
- 5 菓子木型にみる和歌山のあゆみ

〈特別講演会〉 2階講義室

7月29日(土) 14時～15時30分

・「和菓子のなかの紀州の風景」

鈴木裕範氏（和歌山大学南紀熊野サテライト客員教授）

8月5日(土) 14時～15時30分

・「駿河屋伝来資料から読みとれること一紀州の殿様と尾張の殿様の交流」

猪原千恵氏（岡山空襲展示室学芸員）

8月19日(土) 14時～15時30分

・「駿河屋の菓子木型と和歌山」

山下奈津子（当館学芸員）

〈展示解説〉

7月22日(土)・8月6日(日)・23日(水)

14～15時

〈呈茶〉 1階玄関ホール

7月23日(日)・8月20日(日)

10時～15時

・参加費 300円（抹茶とお菓子）

・協力 表千家同門会和歌山県支部和歌山県青年部

〈木型で型ぬき体験〉 1階玄関ホール

8月11日(金・祝)・12日(土)

13時30分～15時30分 ※随時受付

〈復元菓子展示〉

展覧会期間中、株式会社総本家駿河屋製の復元

菓子（5種）を展示。

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『美尽し善極める一駿河屋の菓子木型一』（A4版、98ページ、1,000円）を発行した。

〈協力者〉（五十音順、敬称略）

表千家同門会和歌山県支部和歌山県青年部、株式会社総本家駿河屋、公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団、和歌山県立文書館、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、猪原千恵、今村規子、大西直人、岡本良太、奥村薫、楫善継、川端久夫、北野隆亮、吉備敏雄、酒井俊和、酒井俊之、鈴木裕範、鈴木愛乃、田中一史、妻木一起、藤隆宏、中山圭子、沼野敏正、袴田舞、松浦萌子、森田環、吉村旭輝

〈出陳目録〉

1 和歌山と砂糖		
1	徳川吉宗肖像	館蔵
2	瓦漏	和歌山市教育委員会
3	「甘蔗焚揚帳」	館蔵
4	「砂糖請取通」	館蔵
5	「甘蔗畝高植附扣」	館蔵
6	「諸御用通留帳」	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
7	野呂周助系譜	和歌山県立文書館蔵
8	野呂介石筆 那智三瀑図	館蔵
2 紀州藩と駿河屋		
9	徳川頼宣肖像	館蔵
10	駿河屋看板	株式会社総本家駿河屋
11	絵手本	館蔵
12	『紀伊国名所図会』後編 一之巻	館蔵
13	「紀州家臣諸技芸員町家御用諸氏人物録」	館蔵
14	名古屋駿河屋版画	個人蔵
15 16	煉羊羹商品券	館蔵
17	和歌山駿河屋本店 写真	個人蔵
18	和歌浦駿河屋出店 写真	個人蔵
19	徳川治宝筆 松鶴図	館蔵
20	徳川斉順筆 一行書「忠信」	館蔵
21	西浜御殿舞楽図	館蔵
22	置上作白菊蛤香合	館蔵
23	借楽園焼 交趾写二彩紫葉水指	館蔵
24	吸江斎作 茶杓 銘「祝」	館蔵
25	清寧軒焼 織部写輪花菓子鉢	館蔵
26	絵手本	館蔵
27	釣朝顔	館蔵

28	木末の錦	館蔵
29	初薫り（宝珠 2 つ）	館蔵
30	初薫り（宝珠 3 つ）	館蔵
31	菊裏表双形	館蔵
32	御所之菊	館蔵
33	紫更紗	館蔵
34	万代糕	館蔵
35	枝桜	館蔵
36	雲林糕	館蔵
37	春の錦（八重桜形）	館蔵
38	春の錦（桜形）	館蔵
39	春の錦（桃形）	館蔵
40	常盤山	館蔵
41	ゆるしの色	館蔵
42	あじさい	館蔵
43	延年糕	館蔵
44	秋の籬	館蔵
45	吹上糕	館蔵
46	鉄線糕	館蔵
47	麦寿糕	館蔵
48	岩牡丹	館蔵
49	蟠桃	館蔵
50	花車	館蔵
51	束籬糕	館蔵
52	賤が垣根	館蔵
53	浜づと（イタヤ貝形）	館蔵
54	浜づと（トリ貝形）	館蔵
55	浜づと	館蔵
56	大蛤形	館蔵
57	老の寿	館蔵
58	初桜	館蔵
59	天鷄	館蔵
60	比翼糕	館蔵
61	関の戸	館蔵
62	花の友	館蔵
63	花の友（入味形）	館蔵
64	浦気色	館蔵
65	和歌の浦	館蔵
66	紀八景	館蔵
67	布袋糕	館蔵
68	歌仙糕	館蔵
69	管城糕	館蔵
70	端溪糕	館蔵
71	水房打出シ形（滴露糕）	館蔵
72	陳玄糕	館蔵
73	紗金糕	館蔵
74	きれかがみ	館蔵
75	福結び	館蔵
76	千代の寿	館蔵
77	南福政	館蔵
78	九寿糕	館蔵
79	南極	館蔵
80	若竹糖	館蔵
81	若竹糖（小）	館蔵
82	山の井	館蔵
83	玉露	館蔵
84	かざし糖	館蔵

85	九如糕	館蔵
86	秋の花扇	館蔵
87	短冊糕	館蔵
88	新初夢糕	館蔵
89	春の曙	館蔵
90	絵合	館蔵
91	丹頂糕	館蔵
92	雲井の音（鳥兜）	館蔵
93	御所菊	館蔵
94	雪の朝	館蔵
95	鳥羽の沢	館蔵
96	雲井の船	館蔵
3 駿河屋の菓子木型		
97	三千歳	館蔵
98	千もと	館蔵
99	唐花糖	館蔵
100	氷梅	館蔵
101	裏葉	館蔵
102	雪見笹	館蔵
103	沢錦	館蔵
104	大玉椿	館蔵
105	重陽花	館蔵
106	八重菊	館蔵
107	結びのし	館蔵
108	齡の数（貝合）	館蔵
109	美喜輪	館蔵
110	七宝糕	館蔵
111	瀧の糸	館蔵
112	延寿	館蔵
113	雪花糕	館蔵
114	つぼつぼ（重ね）	館蔵
115	つぼつぼ（単体）	館蔵
116	夏の襲	館蔵
117	笹蔓糕	館蔵
118	花の袂	館蔵
119	長生殿	館蔵
120	三つの齡（鶴）	館蔵
121	村雨	館蔵
122	詩牌糕	館蔵
123	朝陽糕	館蔵
124	千とせ糕	館蔵
125	千代鶴	館蔵
126	朝朗	館蔵
127	春秋糕（春・山吹）	館蔵
128	鶯宿梅	館蔵
129	軒の香	館蔵
130	吉野の便	館蔵
131	春の庭	館蔵
132	大和錦	館蔵
133	秋の庭	館蔵
134	日出鶴	館蔵
135	紫花見形	館蔵
136	君が代	館蔵
137	唐錦	館蔵
138	源氏糕	館蔵
139	千歳の友	館蔵
140	九成	館蔵

141	狸々	館蔵
142	三河糕	館蔵
143	三河糕（小型）	館蔵
144	八橋	館蔵
145	三笠糕	館蔵
146	三輪	館蔵
147	揚芳	館蔵
148	偕老	館蔵
149	不老橋	館蔵
150	五月玉	館蔵
151	若松	館蔵
152	駿河野	館蔵
153	御狩糕	館蔵
154	花競	館蔵
155	鞠懸り	館蔵
156	二見糕	館蔵
157	二葉山	館蔵
158	含章	館蔵
159	八重桜	館蔵
160	難波江	館蔵
161	松寿糕（松枝糕）	館蔵
162	駿河糕	館蔵
163	紅葉	館蔵
164	浪花図	館蔵
165	翁形	館蔵
166	大牡丹	館蔵
167	関の戸	館蔵
168	布袋糕	館蔵
169	海老形	館蔵
170	大菊	館蔵
171	閑古鳥	館蔵
172	翁形	館蔵
173	のし玉	館蔵
174	梅形	館蔵
175	亀	館蔵
176	つる	館蔵
177	和歌浦風景	館蔵
178	青海波	館蔵
179	桜	館蔵
180	梅形	館蔵
181	室の香	館蔵
182	瓢箪	館蔵
4 城下町和歌山の菓子受容		
183	絵手本	館蔵
184	「両御殿老女衆江被遣物御上物おぼえ帳」	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
185	「御拝領御指上覚帳」	和歌山大学紀州経済史文化史研究所
186	菓子値段帳	館蔵
187	「女中日記」	館蔵
188	沼野六兵衛筆「聚星堂日知録」	個人蔵
189	沼野峯筆「日知録」	個人蔵
190	駿河屋羊羹切手	館蔵
191	天保風俗画	館蔵
192	昌平河岸納涼夜店の図	館蔵

193	駿河屋製・仏手柑砂糖漬	個人蔵
194	益寿糖袋	個人蔵
195	御菓子所袋	個人蔵
196	氷掛金米糖袋	個人蔵
197	越乃雪広告	個人蔵
198	和歌浦煎餅包紙	館蔵
199	山重堂 雪ふり餅包紙	個人蔵
200	西出屋 たまご焼袋	個人蔵
201	人気餅袋	個人蔵
202	引札（正寿堂）	個人蔵
203	引札（松田商店）	個人蔵
204	引札（虎の餅）	個人蔵
205	引札（加藤清太郎）	個人蔵
206	引札（岡茂）	個人蔵
207	引札（高瀬商店）	個人蔵
5 菓子木型にみる和歌山のあゆみ		
208	御堂報恩講御盛物御菓子形	館蔵
209	古瓦之形	館蔵
210	明王院喜哩矩字形	館蔵
211	高野山開創 1100 年記念（三つ巴）	館蔵
212	高野山開創 1100 年記念（桐紋）	館蔵
213	鷺之森神社御神紋	館蔵
214	梶取本山用	館蔵
215	伊太祁曾	館蔵
216	矢宮	館蔵
217	紀三井寺	館蔵
218	日の出に鶴	館蔵
219	日の丸	館蔵
220	松下マーク	館蔵
221	ナショナルマーク	館蔵
222	世界一統	館蔵
223	清酒大砲	館蔵
224	岡安建具（上町）	館蔵
225	たきの材木（那賀屋瀧野利次郎・梅次郎／湊北町・湊本町）	館蔵
226	醤油	館蔵
227	綿ネール製造（青山松助／十三番丁）	館蔵
228	ソックス 足袋製造業（島崎為助・久吉／新大工町）	館蔵
229	漆器	館蔵
230	鶴寿紋	館蔵
231	駿河屋紋	館蔵
232	和歌山紡織株式会社商標 大	館蔵
233	和歌山紡織株式会社商標 小	館蔵
234	和歌山紡績株式会社看板	館蔵
235	和歌山市徽章	館蔵
236	和歌山市消防章	館蔵
237	義勇表彰会 慰霊祭	館蔵
238	赤十字旗	館蔵
239	お城しるこ	館蔵
240	和歌浦名所	館蔵
241	独螯蟻	館蔵
242	葵形（大）	館蔵
243	葵形（小）	館蔵
244	葵紋	館蔵

○秋季特別展

「幕末の紀州藩」

〈開催期間〉10月21日(土)～11月26日(日)

〈開催日数〉31日

〈入館者数〉2,424名



〈開催趣旨〉

平成29年は江戸幕府最後の将軍徳川慶喜が政権を朝廷に返上した大政奉還から150年という節目の年である。幕末の紀州藩については、薩摩藩や長州藩などと比べあまり知られていないが、14代将軍の徳川家茂を輩出し、御三家として幕府を支えた。第二次幕長戦争では紀州藩主の徳川茂承が先鋒総督となって征長軍を指揮した。また、そうした藩の動向とは別に、坂本龍馬と行動をとともにした陸奥宗光（今年は没後120年）や新選組隊士矢田賢之助も紀州藩出身である。本展覧会では、こうした紀州藩主・藩士やその出身者に関する資料を展示し、その活躍を紹介した。

〈展示構成〉

- I 幕末の社会
- II 徳川家茂と茂承
- III 慶応期の政局
- IV 紀州出身の志士

〈特別講演会〉2階講義室

10月28日(土)14時～15時30分

・「幕末の政局と徳川家茂」

久住真也氏（大東文化大学）

11月4日(土)14時～15時30分

・「将軍家茂上洛前後の畿内社会」

岩城卓二氏（京都大学）

11月11日(土)14時～15時30分

・「紀州藩士 酒井伴四郎について」

小野田一幸氏（神戸市立博物館）

11月23日(木・祝)14時～15時30分

・「慶応期における紀州藩の動向」

佐藤 顕（和歌山市立博物館）

11月25日(土)14時～15時30分

・「雑賀崎台場の構築とその背景—紀州藩幕末台場の一事例—」

藤藪勝則氏（和歌山市文化スポーツ振興財団）

〈展示解説〉

10月22日(日)、19日(日)14:00～14:40

11月4日(土)15:40～16:20

〈展覧会図録〉

展示資料の写真、解説などを掲載した特別展図録『幕末の紀州藩』（A4版、96ページ、1,000円）を発行した。

〈協力者〉（五十音順、敬称略）

伊太祁曽神社、茨城県立歴史館、教専寺、宮内庁三の丸尚蔵館、熊野速玉大社、高知県立歴史民俗資料館、神戸大学海事博物館、国立国会図書館、堺市博物館、新宮市立図書館、周参見王子神社、すさみ町教育委員会、全正寺、田辺市立図書館、徳川記念財団、念誓寺、彦根城博物館、福島県立博物館、北海道博物館、若宮八幡神社、和歌山県立図書館、和歌山県立文書館、和歌山城整備企画課、葦名ふみ、幾代愛、岩城卓二、上松徹、小野田一幸、郭一彦、吉備敏雄、久住真也、渋谷一成、高本文恵、永原智行、中村努、成尾英士、藤藪勝則、古幡昇子、堀川亜由美、水野優生、柳田直美

〈出陳目録〉

I 幕末の社会		
No.	資料名	所蔵
1	万国一覧図	館蔵
2	世界六大洲	館蔵

3	坤輿図識補（三）	館蔵
4	万国新話（四）	館蔵
5	漂流記	館蔵
6	漂流人善助申口	館蔵
7	紀州熊野浦江異国人漂着之一件	館蔵
8	漂民記事	館蔵
9	西海航路図屏風（右隻）	堺市博物館
10	○絵馬 婦人神社参詣の図	周参見王子神社
11	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	館蔵
12	豊饒御蔭参之図	館蔵
13	軍図（ペリー来航図）	館蔵
14	フロシャ国船之略図	館蔵
15	異船記（八）	和歌山県立図書館
16	菊池海莊肖像	館蔵
17	藻江御台場鑑札	館蔵
18	海防図	館蔵
参考	勝海舟写真	個人蔵
19	此度御見分之大略	館蔵
20	大祓図	館蔵
21	本居内遠肖像	館蔵
22	大地震早引方角附	館蔵
23	紀州大地震大津浪の次第	館蔵
24	地震模様書上	館蔵
II 徳川家茂と茂承		
25	徳川斉順筆 一行書「作徳心送日休」	個人蔵
26	類集	館蔵
参考	水野忠央肖像	新宮市立図書館（提供）
27	系譜	全正寺
28	水野忠央書状	個人蔵
29	水野其外蜜之書拔	館蔵
参考	赤坂御庭図画帖	館蔵
30	水野忠央筆 鶴画賛	館蔵
31	水野忠央筆 特進之和歌	館蔵
32	水野忠央筆 山水図・山田常典筆 常夏図	館蔵
33	三楽園焼十錦写涼炉	個人蔵
34	丹鶴丸図	神戸大学海事博物館
35	紀州熊野太地三輪崎鯨方捕鯨図	館蔵
36	水野重仲肖像	全正寺
37	水野重良肖像	全正寺
38	御家軍令并御旗	館蔵
39	紀州武鑑	館蔵
40	井伊直弼画像	彦根城博物館
41	金梨地蕪時絵螺鈿鞍	彦根城博物館
42	徳川家茂像	徳川記念財団
43	徳川慶福筆 一大字「鶴」	個人蔵
44	徳川慶福筆 二大字「飛龍」	個人蔵
45	徳川慶福筆 一行書「蘭有秀」	館蔵
46	菊千代五歳手形	館蔵
47	京都江御使相勤候諸事控	館蔵
48	破奇術頼光袴垂為搦	館蔵
49	青物魚軍勢大合戦之図	館蔵

50	徳川慶福書状	和歌山城整備企画課
参考	徳川茂承写真	館蔵
51	徳川茂承筆 一行書「恥義成仁」	館蔵
52	徳川茂承筆 一行書「得一為天下正」	館蔵
53	頼朝公大井川行列図	館蔵
54	右幕下頼朝卿上京行列之図	館蔵
55	○絵馬 加茂八幡御行幸略図	周参見王子神社
56	東海道名所之内 紀州加太浦	館蔵
57	加太浦江御詰被遊候節日記	館蔵
58	紀淡間及双島論議	館蔵
参考	久野純固写真	館蔵
59	久野純固筆 三行書	館蔵
60	久野丹波守和歌浦莊図巻	館蔵
61	出陣勤書	館蔵
62	和州一揆為退治高野山江出陣中日記	館蔵
参考	津田正臣写真	館蔵
63	源頼朝公上洛御官位之図	館蔵
64	徳川家茂使用 風呂桶	教専寺
65	公方様御碇泊諸事控	教専寺
66	乍恐奉願上候口上	教専寺
67	京都伏見大火極々本しらべ	館蔵
68	徳川茂承奉納 鎬矢	若宮八幡神社
69	太田春長出陣ノ図	館蔵
70	摂州須磨浦真景	館蔵
71	御家中背旗	館蔵
72	御旗旗御役符図	館蔵
73	中尾松栄筆 打毬図巻	館蔵
74	打毬番組	館蔵
75	広島町ミちしるべ	個人蔵
76	御大名様御参集御本陣附次第不同	個人蔵
77	芸州宮島渡海場同向地街道ノ図	個人蔵
78	小瀬川合戦図	館蔵
79	陰徳太平記図会	館蔵
参考	水野忠幹写真	宮内庁三の丸尚蔵館
参考	宇都宮三郎（鑲之進）写真	宮内庁三の丸尚蔵館
80	水野忠幹書状	館蔵
81	戦争中諸雑記	館蔵
82	ゲベール銃	和歌山城整備企画課
83	御出陣御供勤書	館蔵
84	芸州路大野村戦争之図	個人蔵
85	大野村之図	個人蔵
参考	安藤直裕写真	宮内庁三の丸尚蔵館
86	安藤直裕筆 墨竹図	館蔵
87	黒塗六星紋蒔絵女乗物	館蔵
88	鈴木雲溪筆 石州口之図	館蔵
89	記（柏木兵衛筆、由良守応宛）	個人蔵
90	松本順筆 蘭画賛	個人蔵
III 慶応期の政局		

参考	津田出写真	館蔵
91	紀州改革探索一件	個人蔵
92	徳川茂承書状	館蔵
93	田中善蔵肖像	念誓寺
94	田中善蔵筆 二行書	館蔵
95	二條御城之絵図	館蔵
参考	徳川慶喜肖像写真	茨城県立歴史館
参考	後藤象二郎写真	個人蔵
参考	三浦安（休太郎）写真	宮内庁三の丸尚蔵館
参考	斎藤一肖像写真	個人蔵（福島県立博物館寄託）
96	金貨借用申一札之事	個人蔵
97	斎藤桜門筆 四行書	和歌山城整備企画課
98	証（勝海舟筆、斎藤桜門宛）	館蔵
99	斎藤桜門書状	館蔵
参考	武内孫介写真	
100	御長屋姓名附	館蔵
参考	柳河春三写真	
101	柳河春三筆 四行書	個人蔵
102	小梅日記	和歌山県立図書館
103	川合小梅筆 観梅門窓美人図	館蔵
104	川合小梅筆 万歳図	館蔵
105	子供遊相撲連名附	館蔵
106	子供戯三人生酔	館蔵
107	淀川合戦見聞奇談	館蔵
108	山崎大合戦	館蔵
109	子供行烈遊	館蔵
110	諸大名在京御旅館附	館蔵
111	覚（安藤直裕宛）	館蔵
112	行政官文書（紀伊中納言・津田監物宛）	館蔵
113	絵馬 帆船図	伊太祁曽神社
Ⅳ 紀州出身の志士		
114	矢田賢之助書状	館蔵
参考	近藤勇写真	国立国会図書館
115	矢田賢之助書状	館蔵
参考	写真 杉村義衛（永倉新八）ほか5人	北海道博物館
116	矢田賢之助書状	館蔵
参考	陸奥宗光写真	館蔵
117	伊達千広肖像	館蔵
118	神戸海軍操練所跡記念碑拓本	館蔵
119	陸奥宗光筆 二行書	館蔵
参考	坂本龍馬湿板写真	高知県立歴史民俗資料館
120	坂本龍馬書簡 陸奥宗光宛（津田出等書簡）	国立国会図書館
参考	加納宗七写真	館蔵
121	商方之愚案	和歌山県立図書館
122	和英接言	館蔵
123	陸奥宗光上書	館蔵

124	藩政参与依頼	国立国会図書館
125	命和歌山藩庁出仕	国立国会図書館
126	陸奥宗光筆 四行書	館蔵
参考	陸奥宗光写真（壮年期）	館蔵
127	陸奥宗光書状	館蔵
128	陸奥宗光書状	館蔵

※「参考」は写真パネルを展示。

※○は和歌山県指定文化財。

○冬季企画展 「歴史を語る道具たち」

〈開催期間〉

平成 30 年 1 月 10 日（水）～ 3 月 4 日（日）

〈開催日数〉

48 日

〈入館者数〉

4,024 名（小学校 55 校、3,115 名）

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館では、開館以来多くの市民の方々から寄贈された農具・生活用具等の民具を多数所蔵している。これらの資料の一部は常設展示室に展示し、展観事業に供しているが、その他の多くの資料を有効に活用するため、企画展「歴史を語る道具たち」を開催し、先人の生活の知恵を学ぶ機会にしたいと考えている。

なお、本展覧会は小学校 3・4 年生社会科の学習指導要領に対応する企画である。小学生団体専用の教育プログラム（60 分コース、90 分コース）を用意し、学芸員が展示案内している。また米づくりの映画を上映したり（90 分コースのみ）、行灯に点灯あるいは蓄音機を鳴らすなどの体験も行っている。

〈展示構成と主な展示資料〉

1 くらしの道具

扇風機、裁縫箱、たらい、和傘など

2 遊びと勉強

教科書、通信簿、ページマ、羽子板など

3 あかりの道具

行灯、提灯、蝋燭箱、ランプなど

4 食事の道具

羽釜、蒸籠、提重、箱膳、氷冷蔵庫など

- 5 はかる道具
竿ばかり、斗枰、鯨尺、看貫ばかりなど
- 6 あたたまる道具
箱火鉢、こたつ、行火、湯たんぽなど
- 7 ちょっと昔の道具
冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビなど
- 8 米づくりの農具
鍬、馬鍬、千歯こき、唐臼、唐箕など

総展示点数 約 160 点

〈ワークシート〉

本展覧会では、小学生 3、4 年生の団体見学が多い。そのため、展示をより深く理解してもらえるようにワークシート（オールカラー・全 8 ページ）を作成し、無料配布している。シートには民具や農具の写真を掲載しており、その資料を展示物から探し出し、名称を書くようになっている。

○ホール展示

1 「昭和 20 年 7 月 9 日 和歌山大空襲 一伝えたい あの時の記憶」

〈開催期間〉 7 月 8 日（土）～ 8 月 20 日（日）

〈開催趣旨〉

2 年前より博物館で和歌山大空襲の体験をされた方々に体験談を音源で収録する活動をおこなっている。本展ではおもに和歌山大空襲の体験者 70 人の話を要約してパネル展示するとともに空襲関係の資料も展示した。

2 「平成 28 年度寄贈資料展」

〈開催期間〉 12 月 5 日（火）～ 24 日（日）

〈開催趣旨〉

和歌山市立博物館は、昭和 60 年（1985）の開館以前より市民の方々からたくさんの郷土和歌山の歴史等に関する資料をご寄贈いただいている。これらの資料は大切に保管し、展示や研究に活用している。昨年度（平成 28 年度）は 15 名の方々から、歴史資料 7 件、民俗資料 9 件をご寄贈いただいた。

今回のホール展示では、それらのうち、再建和

歌山城模型、ジュラルミン破片、火縄銃、漢方各種、倉田績書などを展示した。

〈展示点数〉 20 点

3 「文化財を守る —和歌山市寂光院の襖絵—」

〈開催期間〉 3 月 13 日（火）～ 4 月 1 日（日）

〈開催趣旨〉

寂光院は和歌山市松江中に位置する天台宗の寺院で、創建は 18 世紀の中頃になる。

平成 30 年、寂光院の庫裏の解体に伴い、和歌山市内の博物館などで文化財を担当する専門職員たちによって、合同の文化財緊急調査が行われた。このとき、岡山の画家・黒住章堂（1877～1943）による 66 面にもわたる障壁画が良質な状態で保存されていることが確認された。

今回のホール展示では、この障壁画（襖絵）の一部を紹介した。また、本展では、和歌山県博物館施設等災害対策連絡会議の関連事業の一つとして、あわせて地域の文化財を守る「学芸員」（専門職員）の活動の一端を紹介した。

〈展示点数〉 襖絵 24 面、資料 2 点

○コーナー展示

平成 20 年度から常設展示室の民俗及び近世部門の展示ケースの一部を利用し、コーナー展示を行っている。これは一つのテーマを決めて資料を紹介するミニ展示である。本年度のコーナー展示は以下のとおりである。

3 月 28 日（火）～ 6 月 4 日（日）	
南方熊楠と和歌山	『紀伊国名所図会』の出版本屋・帯屋
6 月 6 日（火）～ 8 月 6 日（日）	
ここはどこ？本町周辺の古写真	雑賀の兜
8 月 8 日（火）～ 10 月 1 日（日）	
近世の日本地図	紀州徳川家伝来の絵画
10 月 3 日（火）～ 12 月 3 日（日）	
藩主からの拝領品	加太と葛城修験
12 月 5 日（火）～ 3 月 25 日（日）	
絵画にみる米づくり	発掘物語—城下町の調査—

2. 教育普及事業

○史跡散歩

1 「南方熊楠ゆかりの地を歩く」

- ・日時 5月28日(日)
午後1時30分～4時30分まで
- ・経路 市駅(集合)―生誕の地―寄合橋―医学館跡―南方酒造(現世界一統)―雄小学校跡―博物館(解散)

※徒歩距離約3km

- ・参加者 46名
- ・参加費 一般・大学生 100円
高校生以下無料

今年は世界的な博物学者南方熊楠がこの和歌山市に生まれて150年の記念すべき年である。それを記念して、生誕の地や熊楠のバックボーンであった南方酒造(現世界一統)など熊楠ゆかりの地を訪ね歩くイベントを企画した。今回は文化振興課との共催とし、和歌山市語り部クラブの協力を得て案内していただいた。また、南方酒造見学の折には、株式会社世界一統の協力を得た。

2 「加太を歩く」

- ・日時 10月14日(土)
午前10時～午後3時30分
- ・経路 加太駅(集合)―常行寺―向井家―春日神社―稱念寺―行者堂―淡島神社―昼食(おさかな創庫)―バス移動―深山砲台跡―休暇村紀州加太(自由解散)

※徒歩距離約2.5km

- ・参加者 34名
- ・参加費 一般・大学生 200円
小学5年生～高校生 100円

加太には様々な遺跡や名所がある。淡島神社や常行寺、あるいは砲台跡や中村邸など古代から近代まで多くの見どころスポットが点在している。今回は加太語り部くらぶに協力を得て案内していただいた。普段あまり見ることのない向井家(修験)や加太春日神社(獅子舞)なども見学させていただいた。

なお、昼食についてはおさかな創庫、バス移動に

ついては休暇村紀州加太の協力を得た。

○体験学習

1 「雑賀の兜をつくろう」

- ・日時 平成29年5月27日(土)
同年6月3日(土)、10日(土)17日(土)
いずれも午後2時～3時30分

- ・場所 2階 体験学習室
- ・参加者 9名(保護者子4組)
- ・参加費 2,400円

今回の体験学習では、孫市の会の協力を得て、雑賀ゆかりの兜「雑賀鉢」(実物大)を製作した。各参加者が好みの前立てを製作し、様々な兜が完成した。8月22日～27日まで博物館玄関ホールに兜を展示した。

2 「古墳の立体模型をつくろう」

- ・日時 平成29年8月24日(木)
午後1時～4時30分ごろ
- ・場所 2階 体験学習室
- ・参加者 10名
- ・参加費 500円(材料費)

和歌山市木本には車駕古址古墳という前方後円墳がある。ここからは珍しい金製の勾玉出土した。今回はこの古墳の立体模型を製作し、古墳の構造を理解してもらった。

3 「ゴムてっぽうで遊ぼう」

- ・日時 平成30年8月26日(土)
午後1時30分～4時
- ・場所 1階 玄関ホール
- ・参加者 36人
- ・参加費 無料

不用になった割りばしと輪ゴムを使って、ゴムてっぽう作りを行い、的当て遊びを行った。昭和の子どもたちの遊びの一端を知ってもらった。

4 「どうして遊ぶ？昔の遊び」

- ・日時 ①平成30年1月20日(土)
②2月24日(土)

午後1時30分～4時

- ・場所 1階 玄関ホール
- ・参加者 ①16人 ②31人
- ・参加費 無料

メンコや竹とんぼ、おはじき、折り紙などをとおして、戦後昭和期に流行したこどもの遊びを体験してもらった。

5 「蓄音機で聴くあのころの音楽」

- ・日時 平成30年2月17日(土)
午後1時30分～4時
- ・場所 1階 玄関ホール
- ・参加者 23人
- ・参加費 無料

鳩ぽっぽや月の砂漠、かわいい魚屋さんなど明治期から昭和期にかけてのSPレコードを蓄音機を使って演奏した。簡単な蓄音機の歴史や原理も解説。参加者にはデジタルではないどこか懐かしい音を聴いていただいた。

○講座等

1 古文書講座「かなを読むー和歌を題材にー」

- ・日時 平成29年5月から平成30年までの
第二日曜日(ただし8月はお盆休み)
午後2時～3時30分
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 54人

当館に寄託されている玉津島神社奉納和歌をテキストにして、ひらがなのくずし字の解説方法をレクチャーした。くずし字の読み方だけでなく、玉津島神社の歴史などについてもレクチャーした。

2 映画上映会「和歌山大空襲」と「空襲体験絵巻」

- ・日時 平成29年7月8日(土)
午後2時～3時
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 115人

昭和20年7月9日深夜から翌未明にかけての和歌山大空襲のドキュメンタリー映画と和歌山大空襲を体験した人の描いた絵巻物を上映した。

3 「美術講座ー紀州徳川家と美術ー」

- ・日時 ①平成29年9月9日(土)
紀州徳川家伝来の美術
②9月16日(土)
紀州徳川家歴代の絵画
③9月23日(土)
南葵文庫と紀州徳川家
いずれも午後2時～3時
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 ①12人 ②3人 ③9人
- ・参加費 無料
紀州徳川家と美術の関わりをさぐる連続講座。

4 「歴史講座ーここまでわかった

紀州の戦国時代」

- ・日時 ①平成30年3月3日
発掘調査成果から探る紀州の戦国時代
②3月10日(土)
雑賀衆と戦国時代の紀州
③3月17日(土)
太田城水攻めと和歌山城築城
いずれも午後2時から3時
- ・場所 2階 講義室
- ・参加者 ①25人 ②43人 ③59人
- ・参加費 無料
ここ10年で、日本全国で戦国時代に関わる発掘成果が蓄積され、文献資料の研究も大きく進展した。それにともない紀州の戦国時代像も刷新された。その成果の一端を市民に紹介するため、連続講座を開講した。

○回想法プログラム

「回想法」とは、1960年代にアメリカの精神科医によって提唱された非薬物療法の一つで、高齢者が昔の懐かしい記憶や楽しかった思い出を振り返ることによって、脳を活性化させる心理・社会的アプローチである。

当館では、冬季企画展「歴史を語る道具たち」の会期中、体験学習室に昭和初期から同40年代

における生活道具や玩具などを展示した。電気こたつ、ダイヤル式電話、氷冷蔵庫、ちゃぶ台などで年配の人であれば実際に使用したことのある資料ばかりである。このスペースにおいては、実際に高齢者が資料に触れることができ、高齢者が過去を思い出すことによって、介護予防に役立てていただくよう、本プログラムを実施した。

〈実施期間〉

平成 30 年 1 月 10 日(水)～3 月 4 日(日)

〈利用者数〉

52 名(5 施設：利用者 39 名・介護者 13 名)

○博物館実習

8 月 22 日(火)～26 日(土)

大学における博物館学芸員資格取得課程の実習館として毎年実施している。平成 29 年度は 8 月 22 日から同 26 日での 5 日間実施し、和歌山大学生 2 名、大阪成蹊大学生 1 名が参加した。実習内容は以下のとおりである。

- 8 月 22 日(火) 館内施設・展覧会案内
武器・武具の取り扱い方
- 8 月 23 日(水) 美術・工芸品の取り扱い方
体験学習・準備
- 8 月 24 日(木) 古文書の取り扱い方
体験学習・補助
- 8 月 25 日(金) 出土資料の整理
絵図・地図の整理
- 8 月 26 日(土) 展覧会の企画
体験学習・補助
実習レポート作成

【博物館実習受け入れに関する内規】

- 1 本館において博物館実習の受講を希望するものは、次のすべてをみたすものに限る。
 - (1) 受講を希望するものの所属する大学から依頼のあったものであること。
 - (2) 和歌山県内出身者または和歌山県内の大学に在籍する学生であること。
 - (3) 専攻分野が人文科学系であること。
 - (4) 実習を受講する前年までに、博物館施行規則

第 1 条に掲げる生涯学習概論・博物館概論・博物館経営論・博物館資料論・博物館資料保存論・博物館展示論・博物館教育論・博物館情報・メディア論に相当する課目を履修済みであり、かつこれ以外の科目をすべて当該年に取得できる見込みのあること。

- 2 実習生の受け入れ定員は 20 名以内とする。
- 3 館長が特に認めた場合は、この限りではない。

内規 平成 11 年 4 月 1 日

改正 平成 24 年 4 月 1 日

○ミュージアムボランティア

平成 20 年度から和歌山大学教育学部からミュージアムボランティアを受け入れている。本年度は和歌山大学生 3 名を受け入れた。本館担当学芸員と学生が調整を付け各種作業を行う。強制ではなく、双方の都合があわなければ実施できないことになる。そのため、比較的軽い作業を補助していただくことが多い。活動内容は主に体験学習の補助や博物館資料の整理などである。

○職場体験

平成 23 年度から中学生の職場体験を受け入れている。中学生としての勤労観、職業観を育成させるため、様々な職場での体験が求められている。本年度は西脇中学校 2 年生 4 名(5 月 31 日～6 月 2 日)、加太中学校 2 年生 2 名(7 月 4 日～6 日)、紀之川中学校 2 年生 4 名(9 月 12 日～14 日)を受け入れた。体験内容は受付業務、資料整理、展示ケース等の清掃、演示具の整理などである。

○ウェブサイト

平成 10 年度に本館ウェブサイトを和歌山市ウェブサイト内に開設して以来、コンテンツを改定・補充してきた。その後、平成 16 年 7 月から、館として新たに独自ドメインを取得、オリジナルウェブサイトを作成、運営を行うこととした。平

成 22 年度より、ドメイン名の変更とともに、大幅にリニューアルを行ない、アクセス数も着実に増えている。

また、平成 26 年度から新たな試みとして、和歌山市立博物館公式 Twitter（ツイッター）を開設した。定期的に展覧会や行事の情報を発信しており、フォロワー数も順調に増加している。

・和歌山市立博物館ウェブサイト

（平成 30 年 4 月現在）

<http://www.wakayama-city-museum.jp/>

・和歌山市立博物館公式 Twitter（ツイッター）

（平成 30 年 4 月現在）

https://twitter.com/w_city_hakubuts

3. 調査研究事業

○職員の執筆文献

額田 雅裕

〈著書〉

2017.8.3 『絵図でよむ荘園の立地と環境』古今書院

2017.9.30 「中世荘園の人と自然－紀伊国柿田荘の地形環境と灌漑用水－」安田善憲・高橋学編『自然と人間の関係の地理学』古今書院

〈論文〉

2017.11.10 「14 和歌山」平岡昭利編『読みたくなる「地図」西日本編』海青社

2017.12.15 「和歌山市寂光院の文化財緊急調査概報」（共著）『研究紀要』32、和歌山市立博物館

2017.12.15 「和歌山市立博物館所蔵「和歌山市地籍図」にみる近代初期の和歌山」（共著）『研究紀要』32、和歌山市立博物館

近藤 壮

〈著書〉

2017.4.1 『博物館の歴史・理論・実践 2 一博

物館を動かす』（共著）、京都造形芸術大学出版局

〈論文〉

2017.11.3 「川端龍子と和歌山」、大田区立龍子記念館川端龍子没後 50 年特別展図録『龍子の生きざまを見よ』、大田区立龍子記念館

2017.12.15 「寂光院の書画（和歌山市寂光院の文化財緊急調査概報）」、『研究紀要』32、和歌山市立博物館

〈報告〉

2017.12.28 「# 学芸員のおしごと 特集にあたって」『和歌山地方史研究』74、和歌山地方史研究会

〈資料紹介〉

2018.3.31 「堀田龍之助編・森関山筆『水族図譜』（三）」、『和歌山市史研究』46、和歌山市立博物館

山下 奈津子

〈図録〉

2017.7.22 『美尽し善極める一駿河屋の菓子木型一』、和歌山市立博物館特別展図録

〈論文〉

2017.12.15 「和歌山市寂光院の文化財緊急調査概報」（共著）、『研究紀要』32、和歌山市立博物館

〈資料紹介〉

2018.3.31 「史料翻刻『類集略記』補一上々様・御祝儀編（六）（七）」、『和歌山市史研究』46、和歌山市立博物館

〈コラム〉

2017.9.30 「「駿河屋の菓子木型」が語ること」、『わ菓子通信』11、紀州の和菓子と文化を考える会

佐藤 顕

〈図録〉

2017.10.21 『幕末の紀州藩』、和歌山市立博物館特別展図録

〈論文〉

2017.12.15 「和歌山市寂光院の文化財緊急調査概報」（共著）、『研究紀要』32、和歌山市立博物館

小橋 勇介

〈その他〉

2017.12.28 「古文書から探る地域の歴史—文献資料をあつかう学芸員のおしごと—」『和歌山地方史研究』74、和歌山地方史研究会

太田 宏一

〈その他〉

2017.8.1 「鈴木家」、「鈴木重秀」、「鈴木重朝」週間ビジュアル『戦国王』第58、(株)ハーパーコリンズ・ジャパン

○職員の教育普及活動

額田 雅裕

2017.5.20 講演「和歌浦と紀州の風景」和歌山市立博物館特別講演（於：和歌山市立博物館）

2017.5.27 講演「絵図にみる和歌浦の景観変遷」和歌山県立博物館特別展記念講演会（於：和歌山県立近代美術館）

近藤 壮

2017.6.10 コーディネーター「公開シンポジウム #学芸員のおしごと」、和歌山地方史研究会（於：和歌山市立博物館）

2017.8.11 講義「21世紀ミュージアム学」、和歌山大学教養課程（和歌山大学）

2018.1.20 講演「渡辺始興筆 鳥類真写図巻をめぐる」、三井記念美術館（東京都中央区）

小橋 勇介

2017.6.10 講演「古文書から探る地域の歴史—

文献資料をあつかう学芸員のおしごと—」、和歌山地方史研究会（於：和歌山市立博物館）

2017.10.21 講演「南方熊楠ってどんな人？」キッズたんてい団（和歌山市民会館主催事業）、和歌山市民会館

太田 宏一

2017.11.26 聴覚障害者の史跡巡り解説案内 文化教室「南方熊楠ゆかりの地を巡る」和歌山県聴覚障害者情報センター主催

高橋 克伸

2017.4.13 講演「華岡青洲と医塾春林軒」、公益財団法人山陽放送学術文化財団

2017.4.28 「華岡青洲について」、和歌山県立医科大学

2017.9.9 「華岡青洲の麻酔薬開発と医塾・春林軒」、國學院大學公開文化講座

2017.9.25 大人大学「近世日本医学と華岡青洲」、大人大学推進協議会事務局

2017.11.21 「華岡青洲について」、和歌山市立福島小学校4年生

2017.12.20 「城下町和歌山と和菓子文化（和歌山城と城下町を担当）」、放送大学和歌山学習センター

4. 市史資料管理事業

平成4年度末に事業を完了した和歌山市史編纂事業の残務を引き継いだ事業である。主な業務は、『和歌山市史』残部の販売、他都市交換市史の受入、市史編纂過程で蒐集した資料の保存と整理、保存資料の活用方法の調査研究、『和歌山市史研究』の発行である。

平成29年度は、1本の論文と3本の史料翻刻を、『和歌山市史研究』46号に掲載した。

II 収 蔵 資 料 概 要

1 購入資料概要

本館では計画的に和歌山の歴史、文化に関する資料を購入している。本年度は郷土史家で、多くの美術、歴史資料を収集した故田中敬忠氏の旧蔵資料を 14 点購入した。いずれも展示や研究に活用してく予定である。

●美術工芸資料

田中敬忠氏旧蔵資料	13 件 14 点
南方熊楠 達磨図	1 幅
野際蔡春 和歌祭図	1 幅
山澤與平 鳥獣戯画図	1 幅
北澤楽天 南方熊楠肖像	1 幅
祇園南海 漁夫山水図	1 幅
畔田翠山 駒止桜図	1 幅
徳川光圀書状	1 幅
徳川治宝 富嶽秋景図	1 幅
加納執政宛書状	1 幅
岩瀬広隆 加太浦図	1 幅
南海包譜 柑橘図絵	2 冊
吹上香合	1 合
徳川治宝 扁額「恩露浮緑」	1 面

2 受贈資料概要

本年度は歴史資料 29 件 30 点、美術工芸資料 1 件 4 点、民俗資料 4 件 4 点を寄贈いただいた。資料を大切に保存し、今後の展示や研究に活用したい。

敬称略

●歴史

三木オルガン	1 点	岩井 猛
薬剤行李	1 点	松中成浩
薬剤行李(隊医扱)	1 点	松中成浩
軍用毛布	1 点	松中成浩
慰問袋	1 点	松中成浩
国民服上着	1 点	松中成浩

モンペ	1 点	松中成浩
防空頭巾	1 点	松中成浩
千人針(頭用)	1 点	松中成浩
国画クレパス	1 点	松中成浩
分銅	1 点	松中成浩
赤十字腕章	2 点	松中成浩
白子領絵図	1 舗	高橋久晴
長州領之図	1 舗	高橋久晴
高野山江天誅浪人来騒之節柵陣家等出来之図	1 舗	高橋久晴
江戸之図	1 舗	高橋久晴
大坂市中之図	1 舗	高橋久晴
増補東都近郊全図	1 舗	高橋久晴
東海道里程表	1 舗	高橋久晴
高野山奥院絵図	1 舗	高橋久晴
京都之図	1 舗	高橋久晴
紀伊半島之図	1 舗	高橋久晴
従日光山所々道法附	1 舗	高橋久晴
日光道中手引草	1 舗	高橋久晴
神社境内之図	1 舗	高橋久晴
日光御山之絵図	1 舗	高橋久晴
大日本道中細見記	1 舗	高橋久晴
勢州松坂市中并近郷之図	1 舗	高橋久晴
松阪領図絵	1 舗	高橋久晴

●美術工芸

タペストリー (二月堂の四季)

4 点 高野澄子

●民俗

足踏み式ミシン(シンガー)	1 台	辻本雅治
たらい(木製)	1 点	松村弘子
たらい(金属製)	1 点	松村弘子
電気こたつ	1 点	松村弘子

3 受贈図書概要

平成 29 年度に寄贈された図書は以下のとおりである。

北海道博物館研究紀要 第 2 号	北海道博物館
第 3 回特別展「プレイボール！ ー北海道と野球をめぐる物語 ー」ガイドブック	北海道博物館
北海道博物館研究紀要 第 3 号	北海道博物館
小樽市総合博物館紀要 第 30 号	小樽市総合博物館
現れよ。森羅の生命 - 木彫家 藤戸竹喜の世界	(財) 7 文化振興・ 研究推進機構
根室市歴史と自然の資料館紀要 第 29 号	根室市歴史と自然 の資料館
花巻市博物館研究紀要 第 12 号	花巻市博物館
花巻市博物館研究紀要 第 13 号	花巻市博物館
仙台市博物館収蔵資料図録⑨ 伊達政宗文書	仙台市博物館
仙台市博物館調査研究報告 第 37 号・平成 28 年度	仙台市博物館
仙台市博物館年報 第 44 号 平成 28 年度	仙台市博物館
特別展図録 伊達政宗ー生誕 450 年記念	仙台市博物館
東北歴史博物館紀要 18	東北歴史博物館
東北歴史博物館平成 28 年度年 報	東北歴史博物館
東北歴史博物館研究紀要 19	東北歴史博物館
東北学院大学 東北文化研究所 紀要 第 49 号 2017 年 12 月	東北学院大学東北 文化研究所
秋田県立博物館年報	秋田県立博物館
米 沢 市 上 杉 博 物 館 年 報 VOL.29	米沢市上杉博物館
ふくしま歴史絵巻	福島市教育委員会
福島市史資料叢書 第 98 輯	福島市教育委員会
福島市史資料叢書 第 99 輯	福島市教育委員会
福島大学考古学研究報告 第 10 集 団子山古墳 4 福島県須賀 川市団子山古墳第 6 次調査報告 書 塚野目古墳群 1 福島県伊 達群国見町塚野目古墳群測量 調査報告書	福島大学行政政策 学類考古学研究室
土浦市立博物館年報 第 29 号	土浦市立博物館
土浦市立博物館紀要 第 27 号	土浦市立博物館
栃木県博物館研究紀要ー人文ー 第 34 号	栃木県立博物館
第 117 回企画展 ユネスコ無形 文化遺産「山・鉾・屋台行事」 登録記念 とちぎ版文化プログ ラムリーディングプロジェクト 事業 とちぎの山・鉾・屋台	栃木県立博物館
栃木県立博物館調査研究報告書 下野市 山王遺跡～前期古墳直 下の弥生後期集落～	栃木県立博物館(教 育委員会)

栃木県立文書館 研究紀要 第 21 号(開館 30 周年記念特別号)	栃木県立文書館
第 95 回企画展 さくら市の歴 史と文化 喜連川のお殿さま	さくら市ミュージアム ー荒井寛方記念館 ー
なす風土記の丘 第二十五回特 別展 那須の人々の心とほとけ ー古代から中世初期の仏教をた どるー	大田原市なす風土 記の丘湯津上資料 館
群馬県立歴史博物館紀要 第 38 号	群馬県立歴史博物 館
グランドオープン記念 第 93 回企画展 海を渡って来た馬文 化ー黒井峯遺跡と群れる馬ー	群馬県立歴史博物 館
群馬県立歴史博物館 常設展展 示図鑑	群馬県立歴史博物 館(教育委員会)
平成 29 年度企画展 小さな古 墳の物語 ー群馬の群集墳を考 えるー	高崎市観音塚考古 資料館
行田市郷土博物館収蔵資料目録 中村家文書目録	行田市郷土博物館
開館 30 周年記念 第 27 回テ ーマ展「古代への扉を開く～行田 発掘物語～」	行田市郷土博物館
行田市博物館報 第 19 号 平 成 27・28 年度	行田市郷土博物館
企画展示 デジタルで楽しむ歴 史資料	国立歴史民俗博物 館
歴博 第 202 号	国立歴史民俗博物 館
歴博 203 号	国立歴史民俗博物 館
歴博 201 号	国立歴史民俗博物 館
企画展示 URUSHI ふしぎ物語 ー人と漆の 12000 年史ー	国立歴史民俗博物 館
歴博 204 号	国立歴史民俗博物 館
歴博 206 号	国立歴史民俗博物 館
千葉県博図公連携事業 事業報 告書 博物館・図書館・公民館 が手をつないだら、なにがで きるだろう	千葉県博図公連携 事業実行委員会
千葉県立中央博物館研究報告ー 人文学科ー第 13 巻 第 2 号(通 巻 27 号)	千葉県立中央博物 館
研究紀要 第 23 号	千葉市立郷土博物 館
平成 27 年度 市立市川歴史博 物館館報	市立市川歴史博物 館
平成 28 年度 市立市川歴史博 物館館報	市立市川歴史博物 館
明治 50 年記念企画展 近代化 する館山 - 明治時代の殖産興業 -	館山市立博物館
千葉県の文書館 第 23 号	千葉県文書館
収蔵文書目録第三十一集 諸家 文書目録 11	千葉県文書館
千葉県立関宿城博物館 研究報 告 第 21 号	千葉県立関宿城博 物館

平成 29 年度企画展図録「鰯は弱いが役に立つー肥料の王様千鰯ー」	千葉県立関宿城博物館
伊能忠敬記念館年報 第 18 号 平成 27 年度	伊能忠敬記念館
郵政博物館 研究紀要 第 8 号	公益財団法人通信文化協会博物館部 (郵政博物館資料センター)
野田市郷土博物館 市民会館 年報・紀要 第 9 号 2015	野田市郷土博物館・市民会館
鉄道と野田 ～変わりゆくまちと人々の暮らし～	野田市郷土博物館
杉村楚人冠関係資料目録 (IV) 杉村武家旧蔵資料	我孫子市杉村楚人冠記念館
書陵部紀要 第六十八号	宮内庁書陵部
書陵部紀要 第 68 号 [陵墓篇]	宮内庁書陵部
江戸と北京ー18 世紀の都市と暮らしー	東京都江戸東京博物館
戦国時代展ーA Century of Dreamsー	東京都江戸東京博物館
大妖怪展 土偶から妖怪ウォッチまで	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館調査報告書第 32 集 隅田川流域を考えるー歴史と文化ー	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館紀要 第 7 号	東京都江戸東京博物館
江戸東京博物館 常設展示 総合図録	東京都江戸東京博物館
江戸東京博物館 常設展示 図録 [模型編]ー模型でみる江戸東京ー	東京都江戸東京博物館
江戸東京博物館 常設展示 図録 [図表編]ー図表でみる江戸東京ー	東京都江戸東京博物館
探検！体験！！江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館
企画展 徳川将軍家へようこそ	公益財団法人徳川記念財団・東京都江戸東京博物館
Edo-Tokyo Musenm Permanent Exhibition Catalogue	東京都江戸東京博物館
堀超保二 野鳥と自然をみつめた日本画家	大田区立郷土博物館
品川歴史館紀要 第 32 号	品川区立品川歴史館
平成 29 年度特別展 大崎・五反田ー徳川幕府直轄領の村々ー	品川区立品川歴史館
平成 29 年度特別展図録 地図でみる世田谷	世田谷区立郷土資料館
生活と文化 [豊島区立郷土資料館研究紀要第 26 号]	豊島区立郷土資料館
出光美術館研究紀要 第二十二号	出光美術館
太田区立龍子記念館 川端龍子没後五十年特別展「龍子の生きざまを見よ！」	龍子記念館
三井美術文化史論集 第十号	三井記念美術館
三井美術文化史論集 第十一号	三井記念美術館

御用留 四 世田谷叢書 第十一集	世田谷区教育委員会
國學院大學大学院史学専攻大学院会 史学研究集録 第 41 号	國學院大學大学院日本史学専攻大学院会
國學院大學 博物館學紀要 第 42 輯	國學院大學博物館学研究室
國學院大學 研究紀要 第 34 輯	國學院大學博物館学研究室
実践女子大学香雪記念資料館館報 第 14 号 (平成 28 年度)	実践女子大学香雪記念資料館
実践女子大学 美學美術史學第三十二号	実践美学美術史学会
実践女子大学香雪記念資料館館報 第 15 号 2017 年度	実践女子大学香雪記念資料館
お茶の水女子大学博物館実習報告 第 32 号	お茶の水女子大学
博物館実習報告第 33 号	お茶の水女子大学
府中市郷土の森博物館がいどぶっく	府中市郷土の森博物館
府中市郷土の森博物館紀要第 30 号	府中市郷土の森博物館
府中市郷土の森博物館ブックレット 19 徳川御殿@府中	府中郷土の森博物館
外交史料館報 第三十号	外務省外交史料館
史観 第百七十六冊	早稲田大学史学会
美術史研究 第 54 冊	早稲田大学美術史学会
古代 第 140 号	早稲田大学考古学会
史観 第百七十七冊	早稲田大学史学会
美術史研究 第 55 冊	早稲田大学美術史学会
MUSEOLOGIST 32 2016 年度明治大学学芸員養成課程年報	明治大学博物館事務室・学芸員養成課程
MUSEUM STUDY 28 2016 年度明治大学学芸員養成課程紀要	明治大学博物館事務室・学芸員養成課程
東京家政学院生活文化博物館年報 第 24 号	東京家政学院生活文化博物館
MUSEUM STUDY 29 2017 年度明治大学学芸員養成課程紀要	明治大学博物館事務室・学芸員課程
MUSEOLOGIST 33 2017 年度明治大学学芸員養成課程年報	明治大学博物館事務室・学芸員課程
2017 東京家政学院生活文化博物館 移管資料展 (4) 「きもの、いとをかし - 収藏品ベストコレクション - 」	東京家政学院生活文化博物館
孤峰 - 江戸千家の茶道四月号 (第三十九巻第四号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道五月号 (第三十九巻第五号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道六月号 (第三十九巻第六号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道七月号 (第三十九巻第七号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道八月号 (第三十九巻第八号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道九月号 (第三十九巻第九号)	江戸千家

孤峰 - 江戸千家の茶道十月号 (第三十九巻第十号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道十一月号 (第三十九巻第十一号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道十二月号 (第三十九巻第十二号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道一月号 (第四十巻第一号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道二月号 (第四十巻第二号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道三月号 (第四十巻第三号)	江戸千家
孤峰 - 江戸千家の茶道三月号 (第四十巻第四号)	江戸千家
博物館研究 Vol.52 No.4 通巻 586 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.5 通巻 587 号	(財) 日本博物館協会
平成 25 年度博物館総合調査に関する報告書	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.6 通巻 588 号	(財) 日本博物館協会
「博物館登録制度の在り方に関する調査研究」報告書	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No. 7 通巻 589 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.8 通巻 590 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.9 通巻 591 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.10 通巻 592 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.52 No.12 通巻 594 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.53 No.1 通巻 595 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.53 No.2 通巻 596 号	(財) 日本博物館協会
博物館研究 Vol.53 No.3 通巻 597 号	(財) 日本博物館協会
東京国立博物館図版目録 経塚遺物篇 (東日本) 新訂	東京国立博物館
登録有形文化財 東京国立博物館黒田記念館改修工事報告書	東京国立博物館
特別展覧会 没後 150 年 坂本龍馬	東京国立博物館
描かれた大正モダン・キッズ 婦人之友社『子供之友』原画展	板橋区立美術館
第三十五集日本塩業の研究	(社) 日本塩業研究会
昭和のくらし研究 第 15 号	昭和館
昭和館館報 第 18 号 (平成 28 年度)	昭和館
昭和館特別企画展「希望を追いかけて ～フロリダ州立大学所蔵写真展～」	昭和館
日本美術年鑑 平成 27 年版	東京文化財研究所文化財情報資料部
美術研究 第四百二十号	東京文化財研究所
美術研究 第四百二十二号	東京文化財研究所
美術研究 第四百二十三号	東京文化財研究所

美術研究 第四百二十四号	東京文化財研究所
日野市立新撰組のふるさと歴史館叢書 第十五輯 巡回特別展 剣客集団のその後—新選組・新徴組の変容と終焉—	日野市
「國華清和会」会報 第二十九号 平成二十九年春刊	國華社
「國華清和会」会報 第三〇号 平成二十九年秋刊	國華社
平成 28 年度企画展 徳川将軍家の婚礼	(財) 徳川記念財団
空襲被害者運動関連資料目録 1	(財) 政治経済研究所附属 東京大空襲・戦災資料センター
空襲被害者運動関連資料目録 2	(財) 政治経済研究所附属 東京大空襲・戦災資料センター
空襲被害者を撮影したカメラマンたち—東京空襲を中心に—	(財) 政治経済研究所附属 東京大空襲・戦災資料センター
戦中・戦後の記録写真Ⅱ—林重男・菊池俊吉・別所弥八郎所蔵ネガの整理と考察—	(財) 政治経済研究所附属 東京大空襲・戦災資料センター
空襲被災者運動関連資料目録 3 杉山千佐子・全国戦災被害者連絡会関係資料目録	(財) 政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター
空襲被災者運動関連資料目録 4 福島啓氏名古屋空襲訴訟関係資料・大竹正春資料・木津正男資料目録	(財) 政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター
2017 年特別展 空襲被災者と戦後日本 展示図録	(財) 政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター
根津美術館紀要 此君 第八号	根津美術館
光村コレクション総目録 刀剣と刀装具	根津美術館
特別展 鑿の華—光村コレクションの刀装具—	根津美術館
二〇一七年 NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」特別展 戦国! 井伊直虎から直政へ	N H K プ ロ モーション
シリーズ・実像に迫る 007 征夷大將軍・護良親王	戎光祥出版株式会社
BIOCITY ビオシティ 季刊誌 2017 年 70 号 2017 年 4 月 5 日発行	株式会社ブックエンド
安楽律院資料集 第 1 輪王寺宮消息 付 公辨法親王年譜	文化書院
安楽律院資料集 第 2	文化書院
安楽律院資料集 第 3	大正大学出版会
日本歴史 2017 年 5 月号 第 828 号	日本歴史学会
歴史人 6 NO.78	KK ベストセラーズ
週刊ビジュアル江戸三百派藩 85	株式会社ハーバーコリンズ・ジャパン
市史研究 きよせ 第 1 号	清瀬市史編纂委員会
和菓子を楽しむ人たち	虎屋文庫

シリーズ・実像に迫る 010 荒木村重	戎光祥出版株式会社
和田竜 読本	株式会社洋泉社
市史研究 きよせ 第2号	清瀬市史編纂委員会
疾走！幕末・維新 新選組結成から戊辰戦争まで	小学館
週刊ビジュアル江戸三百藩 91	株式会社ハーパー・コリンズ・ジャパン
平成28年度文化庁委託事業 美術工芸品の公開活用の現状調査事業 報告書	株式会社 丹青研究所
おとな旅プレミアム 南紀・熊野古道 白浜・高野山・伊勢神宮	TAC 株式会社
週刊ビジュアル戦国王 58	株式会社ハーパー・コリンズ・ジャパン
公益社団法人 日本文化財保護協会 紀要 第1号	公益社団法人 日本文化財保護協会
倭人の祭祀考古学（わじんのさいしこうこがく）	株式会社 新泉社
日本歴史 2017年10月号 第833号	日本歴史学会
日本の城辞典 あじわい 198号	株式会社ナツメ社 全国銘産菓子工業協同組合
歴史のなかの根来寺 ―教学継承と聖俗連環の場	勉誠出版（株）
歴史人 別冊 完全保存版 徳川15代将軍最強ランキング	KK ベストセラーズ
月刊歴史街道 平成29年12月号	株式会社 PHP 研究所
古地図から読み解く 城下町の不思議と謎	株式会社実業之日本社
イラストで丸わかり！ 日本の名城	株式会社 洋泉社
絵図でよむ荘園の立地と環境	株式会社 古今書院
司馬遼太郎と宗教	朝日新聞出版
<漱石の初恋>を探して「井上眼科の少女」とは誰か	未知谷
『日本歴史大地図』日本歴史大地図1 日本のあけぼの～天下統一の道	株式会社平凡社
日本史 パノラマ大地図帳	株式会社宝島社
古写真で見る幕末維新と徳川一族	株式会社 KADOKAWA
横浜市歴史博物館 紀要 第二十一号	横浜市歴史博物館（教育委員会）
横浜市歴史博物館資料目録 第25集	横浜市歴史博物館（教育委員会）
横浜市歴史博物館調査研究報告 第13号	横浜市歴史博物館（教育委員会）
文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業 平成28年度「学校・地域・博物館をつなぐ博物館デビュー支援発展事業」年報	横浜市歴史博物館（教育委員会）
横浜に稲作がやってきた！？	横浜市歴史博物館（教育委員会）

和船と海運―江戸時代横浜の船路と和船のしくみ	横浜市歴史博物館（教育委員会）
江戸時代の三浦半島をゆく	横浜市歴史博物館（教育委員会）
【丹波コレクションの世界Ⅱ】歴史×妖×芳年…「最後の浮世絵師」が描いた江戸文化	横浜市歴史博物館（教育委員会）
横浜開港資料館紀要 第三五号	横浜開港資料館
小田原市郷土文化研究報告 No.53	小田原市郷土文化館
平塚市博物館研究報告 自然と文化 第40号	平塚市博物館
平塚市博物館年報 第40号	平塚市博物館
馬の博物館所蔵品図録〔日本画・木版画編〕	(財)馬の博物館(馬事文化財団)
馬の博物館研究紀要 第20号	(財)馬の博物館(馬事文化財団)
民具マンスリー 第50巻1号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻2号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻3号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻4号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻5号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻6号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻7号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻8号	神奈川大学日本常民文化研究所
民具マンスリー 第50巻9号	神奈川大学日本常民文化研究所
歴史をひもとく 藤沢の資料 2 村岡地区	藤沢市文書館
藤沢市史料集 (四十一)	藤沢市文書館
平成27年度 女子美術大学美術館年報 (第14号)	女子美術大学美術館
学術交流協定校 プレラ国立美术学院・女子美術大学 交流作品展	女子美術大学美術館
「女子美の新星」展	女子美術大学美術館
銭湯と横浜	(財)横浜市ふるさと歴史財団
え？ ―近代絵画のわすれもの	新潟市歴史博物館
新潟市政令指定都市・区制移行10周年記念 新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館
平成29年度夏季企画展 「乙女たちの歩み～新潟の女学校と女学生～」	
新潟市歴史博物館研究紀要 第13号	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館研究紀要 第12号	新潟市歴史博物館
開所40年記念特別展 遺跡保護のあゆみ ―富山県40年間の発掘調査で解き明かされたきた歴史の数々―	富山県埋蔵文化財センター

富山県出土の重要考古資料 10 竹貝塚出土品（縄文人骨）とやまの旧石器 直坂Ⅰ遺跡出土品 ウツダイラⅠ遺跡出土品 立美遺跡出土品	富山県埋蔵文化財センター
平成 27 年度 富山市郷土博物館報	富山市郷土博物館
平成 28 年度 富山市郷土博物館報	富山市郷土博物館
特別展 富山市の都市計画―神通川と富岩運河―	富山市郷土博物館
特別展 謙信 越中出馬	富山市郷土博物館
平成 28 年度 氷見市立博物館年報 一第 35 号―	氷見市立博物館
特別展 氷見灘浦の生活誌―半農半漁の村々―	氷見市立博物館
特別展 中世の氷見を訪ねる―暮らしと祈りの世界―	氷見市立博物館(教育委員会)
高岡市立博物館年報 第 23 号 平成 20 年度	高岡市立博物館
高岡市立博物館年報 第 24 号 平成 21 年度	高岡市立博物館
富山県[立山博物館]研究紀要 第 23 号	富山県[立山博物館]
石川県立歴史博物館紀要 第 26 号	石川県立歴史博物館
石川県立歴史博物館 年報 第 17 号 平成 25・26 年度版	石川県立歴史博物館
石川県立歴史博物館 年報 第 18 号 平成 27 年度版	石川県立歴史博物館
石川の歴史遺産セミナー講演録 第 24～26 回	石川県立歴史博物館
特別展 歿後 50 年 初代徳田八十吉 古九谷・吉田屋の再現にかけた生涯	小松市立博物館
加賀藩研究ネットワーク会誌「加賀藩研究」第七号	加賀藩研究ネットワーク
福井県立歴史博物館紀要 第 12 号	福井県立歴史博物館(教育委員会)
福井県立歴史博物館年報 平成 27・28 年度 ミュージアムスタイル Vol.9	福井県立歴史博物館(教育委員会)
館報(平成 28 年度)	福井県立若狭歴史博物館
一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 2016	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館
第 35 回特別展 ひつぎのヒミツ～棺から読み解く古墳時代～	山梨県立考古博物館
川中島の戦いと真田	長野市立博物館
星を伝え歩いた男、朝野北水～江戸時代の星への興味～	長野市立博物館
長野市立博物館収蔵資料目録 民俗 4	長野市立博物館
北信濃の真宗門徒と武田信玄・上杉謙信	長野市立博物館
松本市市制施行 110 周年記念 特別展 山岳画家 武井真澄	松本市立博物館
松代 30 号	長野市教育委員会文化財課
平成 29 年 真田宝物館企画展「真田家の姫たち」	長野市教育委員会文化財課
市誌研究ながの 第二四号	長野市

特別展 葵の時代―徳川将軍家と美濃―	岐阜市歴史博物館
岐阜市歴史博物館研究紀要 第 23 号	岐阜市歴史博物館
レオナルド×ミケランジェロ展	岐阜市歴史博物館
土岐市美濃陶磁歴史館 特別展「お茶と美濃焼」	土岐市美濃陶磁歴史館(教育委員会)
静岡市立登呂博物館館報 23 一平成 28 年度―	静岡市立登呂博物館
沼津の学校 はじめて物語	沼津市明治史料館
沼津市歴史民俗資料館資料集 30 古文書(17) 足保区祐文書目録	沼津市歴史民俗資料館
沼津市博物館紀要 41	沼津市歴史民俗資料館
いのりの海 国指定漁具コレクション 信仰・儀礼用具	沼津市歴史民俗資料館
久能山東照宮博物館報	久能山東照宮博物館
名古屋市博物館企画展 採録名古屋の衣生活 伝えたい記憶残したい心	名古屋市博物館
名古屋市博物館 研究紀要 第 40 巻 2017	名古屋市博物館
名古屋市博物館資料叢書 3 猿猴庵の本(第 23 回配本) 東街便覧図略 巻六	名古屋市博物館
安城市歴史博物館研究紀要	安城市歴史博物館
年報 第 26 号 平成 28 年度	安城市教育委員会
陰陽師 安倍晴明	安城市歴史博物館
特別展 陰陽師 安倍晴明	安城市歴史博物館(教育委員会)
鍛冶荒井遺跡	知立市教育委員会
本陣に泊まった大名たちⅡ 一讃岐高松藩松平家と阿波徳島藩蜂須賀家―	豊橋市二川宿本陣資料館
伊豆守が行く 吉田藩の大名行列と松平信明	豊橋市二川宿本陣資料館
岡山藩主池田家と吉田・二川	豊橋市二川宿本陣資料館
特別展 一宮郷土史編纂の歩み	一宮市尾西歴史民俗資料館
秋季特別展「いちのみやの山車祭礼」解説書	一宮市尾西歴史民俗資料館
特別展 戦時下の織物業	一宮市尾西歴史民俗資料館
特別展 美濃路起宿脇本陣林家～知られざる脇本陣の仕事～	一宮市尾西歴史民俗資料館
特別展「動物たちからみる武士の時代の一宮」展示解説書	一宮市尾西歴史民俗資料館
特別展 美濃路四川 展示解説書	一宮市尾西歴史民俗資料館
新修豊田市史 6 資料編 古代・中世	豊田市教育委員会
企画展 岡崎市制一〇〇周年記念 親善都市 福山の文化財展	岡崎市美術博物館
大鎖国展―江戸に咲いた異国の花―	岡崎市美術博物館
瀬戸蔵ミュージアム企画展 瑠璃釉のやきもの ～深遠な青の世界～	瀬戸蔵ミュージアム

戦争と平和の資料館 ピースあいち開館 10 周年記念誌 「希望を編みあわせる」	戦争と平和の資料館 ピースあいち
史跡斎宮跡 平成 27 年度 発掘調査概報	斎宮歴史博物館
平成 29 年度特別展 災いはモノノケとともに一病気から天変地異まで―	斎宮歴史博物館
史跡斎宮跡 平成 28 年度 発掘調査概報	斎宮歴史博物館
鈴屋学会報 第三十四号	鈴屋学会
平成 28 年度ユネスコ無形文化遺産登録祈念特別企画展「祭礼の美～石取祭と祇園祭～」	桑名市博物館
桑名市博物館収蔵品図録	桑名市博物館
鳥羽水族館 年報 ANNUAL REPORT OF TOBA AQUARIUM No.13	鳥羽水族館
伝えたい、みえ熊野のいま おくまの 2018.3 Vol.8	みえ熊野学研究会
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 第三十三号	滋賀県立琵琶湖文化館
開館 25 周年記念 第 56 回企画展 近江の城を掘る	滋賀県立安土城考古博物館
開館 25 周年記念 平成 29 年春季特別展 信長のプロフィール	滋賀県立安土城考古博物館
大湖南展―栗太・野洲群の風土と遺宝―	滋賀県立安土城考古博物館
滋賀県立安土城考古博物館 紀要 第 24 号	滋賀県立安土城考古博物館
平成 28 年度 年報	滋賀県立安土城考古博物館
発掘された日本列島 2016 地域展図録 渡来した人々の足跡―大津の古墳群と集落跡―	大津市歴史博物館 (教育委員会)
大津市歴史博物館 研究紀要 22	大津市歴史博物館 (教育委員会)
彦根城博物館 研究紀要 第 27 号	彦根城博物館
能面再興の立役者 近代の名工・中村直彦	彦根城博物館
彦根城博物館年報 平成 28 年度	彦根城博物館
栗東歴史民俗博物館紀要 第 23 号	栗東歴史民俗博物館
滋賀大学教育学部紀要 第 66 号	滋賀大学教育学部
滋賀大学環境総合研究センター研究年報 第 14 巻第 1 号 (通巻第 14 号)	滋賀大学環境総合研究センター
文化財修理報告書 VOL.15 (2017)	楽浪文化財修理所
人間文化 42 号	滋賀県立大学人間文化学部
滋賀県立大学 学芸員課程報告書	滋賀県立大学学芸員課程
人間文化 43 号	滋賀県立大学人間文化学部
人間文化 44 号	滋賀県立大学人間文化学部
京都府埋蔵文化財調査報告書 (平成 28 年度)	京都府教育委員会

京都文化博物館研究紀要 朱雀第 29 集	京都府京都文化博物館
京都文化博物館 2016(平成 28)年度年報	京都府京都文化博物館
展示図録 40 茶どころ南山城―茶園景観と歴史―	京都府立山城郷土資料館
特別展図録 宮津という地に居城を拵え - 地中に眠る宮津城 -	京都府立丹後郷土資料館
京都市歴史資料館紀要 第 27 号	京都市歴史資料館 (京都市)
宇治市歴史資料館年報 平成 27 年度・2015	宇治市歴史資料館
収蔵資料調査報告書 19 宇治茶の民具	宇治市歴史資料館
特別展 写真展 よみがえる明治の日本	宇治市歴史資料館
亀岡市文化資料館報 第 10 号	亀岡市文化資料館 (教育委員会)
第 32 回特別展 山とともにくらす～森・川・いかだ～	亀岡市文化資料館 (教育委員会)
第 33 回特別展 米づくりへの挑戦―並河成資と農林 1 号―	亀岡市文化資料館 (教育委員会)
特別展 乙訓郡誌の編纂とその時代	向日市文化資料館
【平成二十九年 秋季特別展】仏教儀礼と茶 - 仙薬からはじまった -	茶道資料館
高麗仏画―香りたつ装飾美	泉屋博古館
京都大学総合博物館収蔵資料目録 第 2 号 第三高等学校鉱物標本目録	京都大学総合博物館
京都大学総合博物館収蔵資料目録 第 3 号 考古図録	京都大学総合博物館
京都大学 総合博物館年報 平成 28 年度	京都大学総合博物館
2015 年度 京都工芸繊維大学美術工芸資料館年報 24	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
大山崎町歴史資料館 館報 第 22 号	大山崎町歴史資料館
第二十五回企画展 千利休とその周辺	大山崎町歴史資料館
大山崎町歴史資料館 館報 第 23 号	大山崎町歴史資料館
野村美術館研究紀要 第二十七号	野村美術館
花園大学文学部研究紀要 第四九号	花園大学文学部
花園史学 第三十七号	花園大学文学部・考古学研究室・史学会
博物館学年報 第 48 号	同志社大学博物館学芸員課程
博物館学年報 第 49 号	同志社大学博物館学芸員課程
立命館平和研究―立命館大学国際平和ミュージアム紀要―第 18 号	立命館大学国際平和ミュージアム
立命館大学国際平和ミュージアム 資料研究報告 第 1 号	立命館大学国際平和ミュージアム
「外山重男：ある兵士の日常」展図録	立命館大学国際平和ミュージアム

木津川・淀川流域における弥生～古墳時代集落・墳墓の動態に関する研究	同志社大学歴史資料館
同志社大学歴史資料館 館報第20号	同志社大学歴史資料館
平成28年度 国宝修理装演師連盟 第22回定期研修会	国宝修理装演師連盟
茶の湯研究 和比 第十号	表千家不審菴文庫
京都府埋蔵文化財情報 第131号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
京都府埋蔵文化財情報 第132号	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
近畿民具学会会報 第39輯	京都造形芸術大学
第二十五代専如門主 伝灯奉告法要記念 特別展「浄土真宗と本願寺の名宝Ⅱ―守り伝える美とおしえ―	龍谷大学 龍谷ミュージアム
京都府宇治田原町埋蔵文化財調査報告書 第3集 禅定寺城跡(付・綜谷古墳)発掘調査報告書	宇治田原町教育委員会
池上曾根遺跡史跡指定40周年記念事業記録集 巨大環濠集落の実像	大阪府立弥生文化博物館
大阪府立弥生文化博物館×沖縄県立博物館・美術館 平成29年度大阪府立弥生文化博物館夏季特別展沖縄の旧石器人と南島文化 <大阪府立弥生文化博物館図録61>	大阪府立弥生文化博物館
平成27年度 大阪府弥生文化博物館 要覧	大阪府立弥生文化博物館
大阪府立弥生文化博物館 平成29年度秋季特別展 海に生きた人びと 漁撈・塩づくり・交流の考古学	大阪府立弥生文化博物館
平成29年度冬季企画展 かけがえのない文化財を守る、伝える―大阪における歩みと展望―	大阪府立弥生文化博物館
大坂府立近つ飛鳥博物館 館報20	大坂府立近つ飛鳥博物館
平成29年度 春季特別展 東国尾張とヤマト王権	大阪府立近つ飛鳥博物館
平成29年度 秋季特別展 古墳出現期の筑紫・吉備・畿内2・3世紀の社会と経済	大阪府立近つ飛鳥博物館
大阪歴史博物館 館蔵資料集13 羽間文庫：器具篇一付、重要文化財指定品目録一	大阪歴史博物館
大阪歴史博物館 研究紀要 第15号	大阪歴史博物館
共同研究成果報告書Ⅱ	大阪歴史博物館
大阪歴史博物館年報 平成28年度	大阪歴史博物館
大阪市立美術館紀要 第十七号	大阪市立美術館
大阪市立美術館紀要 第18号	大阪市立美術館
テーマ展 桃山の TAKUMI―意匠・技巧・工匠―	大阪城天守閣
特別展 幕末大阪城と徳川将軍	大阪城天守閣
テーマ展 浮世絵師が描いた乱世	大阪城天守閣

平成29年度 特別展 天若不愛酒―近代池田の酒づくり―	池田市立歴史民俗資料館
泉大津市文化財調査報告53 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概要36	泉大津市教育委員会
泉大津市文化財調査報告52 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概要37	泉大津市教育委員会
柏原市立歴史資料館 館報29	柏原市立歴史資料館
横穴探求―高井田横穴が見た25年―	柏原市立歴史資料館
竹原井頓宮	柏原市立歴史資料館
柏原市古文書調査報告書第十二集 河内国安宿部郡国分村 堅山家文書目録	柏原市立歴史資料館
堺市博物館研究報告 第36号	堺市博物館(教育委員会)
平成二九(二〇一七)年度 春季特別展 田能村竹田展 吹田・なにわを愛した文人画家	吹田市立博物館
吹田市立博物館開館25周年記念 平成29年度(2017年度)秋季特別展「北大阪のまつり―まもりつたえる心―」図録	吹田市立博物館
吹田市立博物館館報17	吹田市立博物館
東大阪市立郷土博物館平成29年度 特別展 東大阪アニマルランド展示解説書	東大阪市立郷土博物館
八尾市立歴史民俗資料館報(平成28年度)・研究紀要第28号	八尾市立歴史民俗資料館
平成29年度特別展図録『河内木綿―河内から近江、そして最上へ―』	八尾市立歴史民俗資料館(教育委員会)
八尾市立歴史民俗資料館常設展示図録 改訂版「大和川流域と高安山―その歴史と文化―」	八尾市立歴史民俗資料館(教育委員会)
影印 河内屋可正日記二 大阪大谷大学博物館報告書 第64冊	大阪大谷大学博物館
大阪大谷大学 第17号 歴史文化研究	大阪大谷大学 歴史文化学科
志学台考古 第17号 一年代・産地・分析等―	大阪大谷大学 歴史文化学科
大谷大学博物館 2017年度特別展 東本願寺と徳川幕府	大阪大谷大学 歴史文化学科
関西大学博物館紀要 第23号	関西大学博物館
平成29年度文化庁芸術振興費補助金(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業) 関西圏大学ミュージアム連携活性化事業／交流する大学ミュージアムを目指して―大学の扉を開く―実施報告書	関西大学博物館
山本竟山の書と学問 湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク	関西大学博物館
アジア観光学年報 第18号	追手門学院大学国際教養学部アジア学科
史泉 第126号	関西大学文学部史学・地理学会

史泉 第一二七号	関西大学文学部史学
大阪府立狭山池博物館 平成 28 年度 池守田中家文書特別公開戦陣の礼法	大阪府立狭山池博物館
大阪府立狭山池博物館 平成 29 年度 池守田中家文書特別公開婚礼と祝事の礼法	大阪府立狭山池博物館
高槻市立しろあと歴史館・今城塚古代歴史館 高槻城築城 400 年記念特別展 「天下泰平と高槻城」	高槻市立しろあと歴史館
泉南市遺跡郡発掘調査報告書 X X X I V 泉南市文化財調査報告書 第 57 集	泉南市教育委員会
男神社歴史的建造物調査報告書 泉南市文化財調査報告書 第 58 集	泉南市教育委員会
杏雨 第 20 号	(財) 武田科学振興財団 杏雨書屋
杏雨書屋所蔵 医家肖像集 二編	(財) 武田科学振興財団 杏雨書屋
阪急文化研究年報 第 6 号	(財) 阪急文化財団
国史跡指定記念 狭山池シンポジウム 2015 狭山池を未来に伝える 記録集	大阪狭山市教育委員会
茨木市立文化財資料館 館報 第 2 号	茨木市立文化財資料館
銅鐸をつくった人々―東奈良遺跡の人工集団―展示図録	茨木市立文化財資料館
茨木市立文化財資料館 館報 第 3 号 (平成 28 年度)	茨木市立文化財資料館
旅と交流にみる近世社会	清文堂出版株式会社
先哲・石田梅岩の世界―神天の祈りと日常実践―	株式会社新風書房
紀州陶磁器史研究	清文堂出版株式会社
悠然見南山―蘭田香融先生追悼文集―	蘭田香融先生追悼文集刊行会
民俗文化 第 29 号	近畿大学民俗学研究所
兵庫県立歴史博物館紀要 塵界第二十八号	兵庫県立歴史博物館 (ひょうご歴史研究室)
ひょうご歴史研究室紀要 第二号	兵庫県立歴史博物館 (ひょうご歴史研究室)
神戸市立博物館 館蔵品目録 考古・歴史の部 33	神戸市立博物館
神戸市立博物館 研究紀要 第 33 号	神戸市立博物館
地域研究いたみ 第四六号	伊丹市立博物館
伊丹市立博物館史料集 12 明治期伊丹の鉄道	伊丹市立博物館
西宮市立郷土資料館学芸員論集	西宮市立郷土資料館 (教育委員会)
黒川古文化研究所紀要 古文化研究 第十六号	(財) 黒川古文化研究所
研究図録シリーズ 3 武士が描いた絵画	(財) 黒川古文化研究所

研究図録シリーズ 4 慈雲尊者 - いつくしみの書	(財) 黒川古文化研究所
播磨学紀要 第 20・21 合併号	播磨学研究所
城郭研究室年報 VOL.26	姫路市立城郭研究室 (教育委員会)
赤穂市史史料集 第三集 真光寺旧蔵・柴原家文書 年中行事控 (I)	赤穂市史編纂室
赤穂市史史料集 第二集 赤穂藩森家分限帳集	赤穂市史編纂室
赤穂市史史料集 第四集 真光寺旧蔵・柴原家文書 年中用事控 (II)	赤穂市史編纂室
赤穂史百話	赤穂市史編纂室
藝術文化雑誌 紫明 / 第三十九号	篠山能楽資料館 (紫明の会)
藝術文化雑誌 紫明 / 第四十号	篠山能楽資料館 (紫明の会)
藝術文化雑誌 紫明 / 第四十二号	能楽資料館 (紫明の会)
藝術文化雑誌 紫明 / 第四十一号	能楽資料館 (紫明の会)
姫路市書写の里・美術工芸館年報	姫路市書写の里・美術工芸館
大手前大学史学研究所紀要 第 11 号	大手前大学史学研究所
大手前大学史学研究所研究報告 第 17 号 関西窯業の近代 I	大手前大学史学研究所
関西学院史学 第 45 号	関西学院大学 総合教育研究室・史学会
姫路市史編集資料目録集 67	姫路市教育委員会
淡路市埋蔵文化財調査報告書 第 13 集 天神遺跡 発掘調査報告書【弥生時代 編】	淡路市教育委員会・淡路市
平成 29 年度特別展 長安周得 II ―朝廷に認められた赤穂の絵師―	赤穂市立美術工芸館 田淵記念館
平成 28 年度上郡町郷土資料館特別展 明治日本の産業革命遺産～製鉄・製鋼・造船・石炭産業～ユネスコ世界文化遺産登録記念 『世界が認めた大鳥圭介』	上郡町郷土資料館
上郡町文化財紀要 3 上郡町歴史シンポジウム 『日本の産業革命遺産と大鳥圭介～世界が認めた大鳥圭介～シンポジウム記録集』	上郡町郷土資料館
神戸市紀要「神戸の歴史」第二十六号	神戸市
北和城南古墳出土品調査報告書 特別展 快慶 日本人を魅了した仏のかたち	奈良国立博物館 奈良国立博物館
1000 年忌特別展 源信 地獄極楽への扉	奈良国立博物館
第 69 回正倉院展	奈良国立博物館
The 69th Annual Exhibition of Shoso-in Treasures	奈良国立博物館
特別陳列 おん祭りと春日信仰の美術 特集―社家史料と若宮―	奈良国立博物館

修理完成記念特別陳列 薬師寺の名画 一板絵神像と長沢芦雪筆旧福寿院障壁画一	奈良国立博物館
科学研究費助成事業 基盤研究 (A) (一般) 研究成果報告書 春日信仰を中心とした南都における神祇信仰の展開とその遺品に関する総合的研究	奈良国立博物館
鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要 第17号・第18号	奈良国立博物館
鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要 第19号	奈良国立博物館
奈良文化財研究所飛鳥資料館 平成29年度 春期特別展 藤原京を掘る 藤原京一等地の調査	奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所概要 2017	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成29年度秋季特別展 高松塚古墳を掘る一解明された建造方法	飛鳥資料館
平成29年度冬期企画展 飛鳥の考古学 2017	奈良国立文化財研究所 飛鳥資料館
奈良県立美術館紀要 第31号	奈良県立美術館
奈良県立美術館年報 - 平成27年度 -	奈良県立美術館
平成29年度春季特別展 唐古・鍵遺跡跡発掘80周年記念 新作発見! 弥生企画一人・動物・風景一	県立橿原考古学研究所附属博物館
大和を掘る35 一2016年度発掘調査速報展一	県立橿原考古学研究所附属博物館
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 特別展図録第88冊 橿原考古学研究所創立80周年関連事業 平成29年度秋季特別展 黒塚古墳のすべて	県立橿原考古学研究所附属博物館
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 特別陳列図録第23冊 きみの名は? 万葉集の考古学	県立橿原考古学研究所附属博物館
2016(平成28)年度玄関ホール写真展 第6回「私ととらえた大和の民俗一住一」 2016.10.29～12.11	奈良県立民俗博物館
天理参考館報 第30号	天理大学附属天理参考館
桜井市立埋蔵文化財センター展示解説書 第43冊 平成29年度 特別展「桜井の歴史を作った七人の人々」	公益財団法人桜井市文化財協会(教育委員会)
平成27(2015)年度橿原市文化財調査年報	橿原市教育委員会
平成29年度企画展「弥生遺産V 唐古・鍵遺跡 初期調査の遺物～補遺～」 唐古・鍵考古学ミュージアム 展示図録 Vol.22	田原本町教育委員会
唐古・鍵遺跡考古資料目録Ⅱ一土器編2(弥生・搬入・特殊)一	田原本町教育委員会
葛城市歴史博物館年報・紀要 かづらき11一平成26・27年度一	葛城市歴史博物館

葛城市歴史博物館企画展図録 第16冊「石光山古墳群と忍海」	葛城市歴史博物館
帝塚山大学附属博物館報ⅩⅡ	帝塚山大学附属博物館
帝塚山大学考古学研究所研究報告ⅩⅨ	帝塚山大学考古学研究所
奈良女子大学構内遺跡 発掘調査概報Ⅸ	奈良女子大学
纏向学研究センター研究紀要 纏向学研究 第5号	桜井市纏向学研究センター
桜井市 纏向学研究センター年報 第4号(平成27年度)	桜井市纏向学研究センター
桜井市 纏向学研究センター年報 第5号(平成28年度)	桜井市纏向学研究センター
奈良文化財研究所紀要 2017	国立文化財機構奈良文化財研究所
古代氏族の研究⑩ 紀氏・平群氏一韓地・蝦夷で活躍の大族	有限会社青垣出版
続 明日香村史 上巻	明日香村
続 明日香村史 中巻	明日香村
続 明日香村史 下巻	明日香村
さわって学ぶ 仏像の基礎知識	和歌山県立博物館
仮面の諸相一乾武俊氏の収集資料から一	和歌山県立博物館
和歌山県立博物館研究紀要 第二十三号	和歌山県立博物館
特別展 東照宮の文化財Ⅱ一没後四〇〇年 家康の遺宝一	和歌山県立博物館
和歌山県立自然博物館 館報 平成28年度	和歌山県立博物館
平成29年度特別展解説書 興味津々! 深海魚	和歌山県立博物館
道成寺と日高川 一道成寺縁起と流域の宗教文化一	和歌山県立博物館
和歌山県立紀伊風土記の丘 秋期特別展 「道が織りなす旅と文化」	和歌山県立紀伊風土記の丘
紀伊風土記の丘研究紀要 第5号・平成27年度 紀伊風土記の丘 年報 第43号	和歌山県立紀伊風土記の丘
平成29年度冬期企画展「うつわに隠された物語一装飾付須恵器の世界一」 特別陳列「紀伊の古墳一東京国立博物館所蔵品から一」	和歌山県立紀伊風土記の丘
うつわに隠された物語・紀伊の古墳	和歌山県立紀伊風土記の丘
美尽し善極める 駿河屋の菓子木型	和歌山市立博物館
特別展 幕末の紀州藩	和歌山市立博物館
研究紀要 第32号	和歌山市立博物館
和歌山市史研究第46号	和歌山市立博物館
橋本市郷土資料館館報第31号 「葛城凍豆腐製造同業組合 沿革史 明治四十年十月日」翻刻	橋本市郷土資料館
有田市郷土資料館特別展図録『念仏行者徳本一200回忌記念一』	有田市郷土資料館(教育委員会)
海南市文化財調査報告書 第51集 海南市内遺跡発掘調査概報一平成27年度一	海南市教育委員会
岩出市民俗資料館館報 No.6	岩出市民俗資料館

岩出市埋蔵文化財調査年報 平成 25 年度	岩出市教育委員会
岩出市埋蔵文化財調査年報 平成 26 年度	岩出市教育委員会
岩出市埋蔵文化財調査年報 平成 27 年度	岩出市教育委員会
和歌山県岩出市 増田家住宅・桃井家住宅調査報告書	岩出市教育委員会
和歌山県立文書館紀要 第十九号	和歌山県立文書館
古文書徹底解釈 紀州の歴史第四集	和歌山県立文書館
和歌山県埋蔵文化財調査年報―平成 27 年度―	和歌山県教育委員会
岩 橋 千 塚 古 墳 群 ― 大 谷 山 4・5・6・39 号墳 発掘調査報告書―	和歌山県（教育委員会）
和歌山県指定文化財 旧和歌山県会議事堂修理工事報告書	和歌山県（教育委員会）
和歌山市内遺跡発掘調査概報―平成 27 年度―	和歌山市教育委員会
公益財団法人和歌山県文化財センター年報 2016	和歌山県文化財センター
平井遺跡、平井Ⅱ遺跡―第二阪和国道建設に伴う発掘調査報告書―	和歌山県文化財センター
中飯降遺跡―一般国道 24 号京奈和自動車道（紀北東道路）改築事業に伴う発掘調査報告書―	和歌山県文化財センター
寺内古墳群、相方遺跡―和歌山橋本線道路改良工事及び近畿自動車道松原那智勝浦線（仮称）和歌山南スマートインターチェンジ建設事業、海草振興局建設部庁舎移転外事業に伴う発掘調査報告書―	和歌山県文化財センター
吉原遺跡―都市防災総合推進事業に伴う発掘調査報告書―	和歌山県文化財センター
根来寺遺跡、山口古墳群―一般国道 24 号京奈和自動車道建設に伴う発掘調査報告書―	和歌山県文化財センター
地宝のひびき ―和歌山県内文化財調査報告会資料集―	和歌山県文化財センター
公開シンポジウム 『中世熊野の港湾遺跡新宮津を考える』	和歌山県文化財センター
和歌山城郭研究 第 16 号	和歌山城郭調査研究会
文化庁 平成 28 年度 文化遺産を活かした地域活性化事業 九度山町文化遺産を活かした地域活性化事業 調査報告書（Ⅰ）	九度山町教育委員会
信愛紀要 第 57 号	和歌山信愛女子短期大学
信愛紀要 第 58 号	和歌山信愛女子短期大学
紀州経済史文化史研究紀要 第 38 号	紀州経済史文化史研究所
2017 年特別展 紀州地域と西国巡礼	紀州経済史文化史研究所
あかね第三十七号	御坊文化財研究会
田辺市立美術館年報 平成 28 年度＜第 9 号＞	田辺市立美術館
現代の織Ⅰ 潮 隆雄	田辺市立美術館

現代の織Ⅱ 久保田繁雄	田辺市立美術館
文化橋本 第十六号	橋本歴史研究会
文化橋本 第十七号	橋本歴史研究会
文化橋本 18	橋本歴史研究会
文化橋本 20	橋本歴史研究会
文化橋本 21	橋本歴史研究会
文化橋本 22	橋本歴史研究会
熊楠研究 第十一号	南方熊楠研究会
有田川中流域の仏教文化―重要文化財・安楽寺多宝小塔修理完成記念―	有田川町教育委員会
平成 28 年度 有田川町埋蔵文化財調査年報	有田川町教育委員会
国指定重要無形民俗文化財 杉野原の御田舞映像記録解説書	有田川町教育委員会
国選定重要文化的景観「蘭島及び三田・清水の農山村景観」整備報告 西原観音堂整備事業報告書	有田川町教育委員会・有田川町遺跡調査会
国選定重要文化的景観「蘭島及び三田・清水の農山村景観」整備計画 サイン計画編	有田川町教育委員会・有田川町遺跡調査会
平成 29 年度 有田川町埋蔵文化財調査年報	有田川町教育委員会
和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報 ―平成 27 年度(2015 年度)―	(財)和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
紀の川市内遺跡発掘調査概要報告書 ―平成 27 年度―	紀の川市教育委員会
医聖華岡青洲顕彰会	医聖華岡青洲顕彰会
史跡旧名手宿本陣整備基本計画	紀の川市教育委員会(生涯学習課)
医聖華岡青洲研究事業 研究論文 第 1 号	医聖華岡青洲顕彰会
御坊祭ガイドブック ～和歌山県日高地方最大の祭り～	御坊市教育委員会生涯学習課
アールブリュット和歌山 魂のあふれるところ	社会福祉法人和歌山県福祉事業団
城下町の風景 ―カラーでよむ「紀伊国名所図会」―	ニュース和歌山株式会社
和歌浦の風景 ―カラーでよむ「紀伊国名所図会」―	ニュース和歌山株式会社
和歌山県工業技術センター創立 100 周年記念誌	和歌山県工業技術センター
和歌山西国三十三ヶ所霊場一番札所 曹洞宗鶴林山高松禪寺	高松寺
和歌山地方史研究 73	和歌山地方史研究会
熊野（改題くちくまの）第一五二号	紀南文化財研究会
和歌山地方史研究 74	和歌山地方史研究会
熊野（改題くちくまの）第一五三号	紀南文化財研究会
マエオカテツヤの和歌山妖怪大図鑑	ニュース和歌山
鳥取藩研究の最前線	鳥取県立博物館

共同企画特別展《新発見「江戸始図」関連展示》松江城と江戸城—国宝になった城と天下人の城—	松江歴史館
松江歴史館 研究紀要第四号	松江歴史館
松江歴史館 研究紀要第五号	松江歴史館
平成 28 年度企画展 生誕 150 年記念 国を動かした出雲人 若槻禮次郎と岸清一	松江歴史館
雲州松江の歴史をひもとく—松江歴史館展示ガイド—	松江歴史館
平成 27 年秋特別展 一祝・国宝指定— 松江天守再発見	松江歴史館
平成 27 年度特別展 江戸のグラフィックデザイン 千社札の元祖 天愚孔平	松江歴史館
平成 28 年度特別展 没後 350 年記念 祖父は家康と秀吉 松江藩主 松平直政の生涯—真田丸攻めで初陣を飾った武将—	松江歴史館
—美の遺産—松平不昧 茶の湯と美術	松江歴史館
岡山県立博物館研究報告 第 37 号	岡山県立博物館(教育委員会)
岡山県立博物館研究報告 第 38 号	岡山県立博物館(教育委員会)
平成 29 年度特別展 備前刀—日本刀の王者—	岡山県立博物館(教育委員会)
国展創立前夜—大正前期の京都の日本画—	笠岡市立竹喬美術館
デカダンスの気配—新視点培広庵コレクション—	笠岡市立竹喬美術館
春星館コレクション—ある美術家の視点—	笠岡市立竹喬美術館
倉敷市立自然史博物館館報 第 26 号 (平成 28 年度)	倉敷市立自然史博物館
倉敷市立自然史博物館研究報告 第 32 号	倉敷市立自然史博物館
津山郷土博物館紀要第二十九号 津山松平藩町奉行日記二十三	津山郷土博物館(教育委員会)
津山郷土博物館年報 平成 28 年度	津山郷土博物館(教育委員会)
岡 び と The“okayamabito” —岡山シティミュージアム紀要— 第 11 号 (Vol.11)The eleventh issue (『岡山学こと始め』改題通関第 14 号)	岡山シティミュージアム
大相撲と日本刀	株式会社テレビせとうちクリエイト
広島県立みよし風土記の丘 広島県立歴史民俗資料館 年報 第 32 号—平成 25・26 年度—	広島県立歴史民俗資料館
和風 第 136 号	上田流和風堂
和風 第 137 号	上田流和風堂
和風 第 138 号	上田流和風堂
和風 第 139 号	上田流和風堂
平成 28 年度徳島県立鳥居龍蔵記念博物館企画展図録遙かなるマチュピチュ—鳥居龍蔵、南アメリカを行く—	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館研究報告 第 27 号	徳島県立博物館(教育委員会)

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告書 第 3 号	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
平成 28 年度文化芸術振興費補助金(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業) 徳島県の文化の創造的再発見事業 実施報告書	徳島県立博物館(教育委員会)
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第 7 号 (平成 28 年度)	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島県立博物館年報 第 26 号 (平成 28 年度)	徳島県立博物館(教育委員会)
徳島県立博物館企画展図録 江戸幕府と徳島藩 —幕藩制改革からみる江戸時代—	徳島県立博物館(教育委員会)
鳥居龍蔵 日本人の起源に迫る—本山彦一との交流—	徳島県立鳥居龍蔵記念博物館
徳島市立徳島城博物館年報 第 25 号 (平成 28 年度)	徳島市立徳島城博物館(教育委員会)
特別展 幽霊—美と醜の物語	徳島市立徳島城博物館(教育委員会)
徳島城博物館開館二十五周年記念 東京富士美術館名刀展 鐵華繚乱—ものゝふの美	徳島市立徳島城博物館(教育委員会)
松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館 館報 歴史の里 第 20 号 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
高松松平家歴史資料目録Ⅴ 刀剣 刀装具	香川県立ミュージアム(旧 香川県歴史博物館)
収蔵資料目録 9	香川県立ミュージアム
ミュージアム 調査研究報告 第 8 号	香川県立ミュージアム
香川県立ミュージアム年報 第 9 号 (平成 28 年度)	香川県立ミュージアム
平成 28 年度特別展 「はに坊と行く!えひめの古墳探訪」図録	愛媛県歴史文化博物館
平成 28 年度特別展「愛媛・お祭り博覧会 2016」展示図録 愛媛の祭りと芸能	愛媛県歴史文化博物館
愛媛県歴史文化博物館資料目録 第 25 集 久万高原町上黒岩岩陰遺跡出土遺物	愛媛県歴史文化博物館
愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第 22 号	愛媛県歴史文化博物館
愛媛県歴史文化博物館史料目録 第 26 集 四国遍路関係資料目録Ⅱ 梅村武氏調査研究資料	愛媛県歴史文化博物館
愛媛県歴史文化博物館研究紀要 第 23 号	愛媛県歴史文化博物館
研究最前線 四国遍路と愛媛の霊場	愛媛県歴史文化博物館
特別展 高虎と嘉明 転換期の伊予と両灘	愛媛県歴史文化博物館
松山市文化財調査報告書 第 188 集 大峰ヶ台遺跡 13 次調査 道後今市遺跡 12 次調査 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書	松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第 189 集 姫原遺跡 2 次調査 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書	松山市教育委員会

松山市文化財調査報告書 第186集 樽味四反地遺跡 23 次調査	松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第187集 束本遺跡 5 次調査	松山市教育委員会
松山市文化財調査報告書 第190集 宮前川流域の遺跡Ⅲ 辻遺跡 5 次調査・辻町遺跡 3 次調査・朝美辻遺跡 1 次調査・朝美辻遺跡 2 次調査	松山市教育委員会
松山市埋蔵文化財調査年報 28 松山市文化財調査報告書 第191集 道後湯之町遺跡 2 次調査	松山市教育委員会 (財)松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書 第192集 船ヶ谷遺跡 5 次調査	(財)松山市文化・スポーツ振興財団埋蔵文化財センター
松山市文化財調査報告書 第193集 筋違 M 遺跡 筋違 Q 遺跡 国庫補助市内遺跡発掘調査報告書	松山市教育委員会
松山市埋蔵文化財調査年報 29 愛媛大学 法文学部論集 人文学編 第43号	松山市教育委員会 愛媛大学文学部・人文学会・法文学部
愛媛大学 法文学部論集 人文学編 第44号	愛媛大学文学部・人文学会・法文学部
高知県立歴史民俗資料館 研究紀要 第21号 2016(平成28年度)	高知県立歴史民俗資料館
高知県立歴史民俗資料館年報 平成28年度 No.26	高知県立歴史民俗資料館
平成二十九年度 大政奉還を「象」った男 後藤象二郎	高知県立歴史民俗資料館
《白陰禅師 250 年遠諱記念 特別展》今を生きる禅文化—伝播から維新を越えて—	高知県立歴史民俗資料館
高知県立歴史民俗資料館 研究紀要 第22号 2017(平成29年度)	高知県立歴史民俗資料館
九州歴史資料館 研究論集 42 柳川古文書館 開館三十周年記念誌	九州歴史資料館 柳川古文書館
北九州市立自然史・歴史博物館 研究報告 B 類 歴史 第14号	北九州市立自然史・歴史博物館
年報 平成27年度	北九州市立自然史・歴史博物館
東アジア友好博物館交流事業企画展 着物が語る日本の心 展覧会図録	北九州市立自然史・歴史博物館
福岡市博物館 研究紀要 第二十六号	福岡市博物館
平成26(2014)年度収集 収蔵品目録 32	福岡市博物館
筑紫野市歴史博物館(愛称 ふるさと館ちくしの)年報 17(平成27年度)	筑紫野市歴史博物館

旧九州鉄道城山三連橋梁 国・登録有形文化財 旧九州鉄道城山三連橋梁の発掘調査 筑紫野市文化財調査報告書 第111集	筑紫野市教育委員会
堀池遺跡第3・5・6次発掘調査 筑紫野市文化財調査報告書 第112集	筑紫野市教育委員会
原口遺跡第2次・第3次発掘調査 筑紫野市文化財調査報告書 第113集	筑紫野市教育委員会
福岡県中近世城館遺跡等詳細分布調査報告書4 福岡県の中近世城館跡Ⅳ - 筑後地域・総括編 - 附・福岡県の近世台場・遠見番所・烽火台跡 福岡県文化財調査報告書第260集	福岡県教育委員会
大牟田古墳群中島窯跡群測量調査概報 福岡大学考古学研究室研究調査報告書第11冊	福岡大学人文学部考古学研究室
新・日韓交渉の考古学—弥生時代— 第1回共同研究会	福岡大学人文学部考古学研究室
国宝桜ヶ丘銅鐸の総合診断調査と今後の保存活用—発見50年目を迎えるにあたって—	九州国立博物館
文化交流展 特別展示「水の中からよみがえる歴史 - 水中考古学最前線 -」	九州国立博物館
新修・北九州市 文化編・教育編	北九州市
鳴滝紀要 第27号	シーボルト記念館
熊本博物館館報No.29 2016年度報告	熊本市熊本博物館
大分県荘園村落遺跡詳細分布調査概要報告書	大分県立歴史博物館
大分県仏教美術調査報告 3	大分県立歴史博物館
大分県歴史美術調査報告 4	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館年報 2016	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館 研究紀要 18	大分県立歴史博物館
おおいた歴博 No.57	大分県立歴史博物館
平成28年度 特別展(第35回)ほとけの王国 大分の仏像	大分市歴史資料館
宮崎県総合博物館年報 No.46	宮崎県総合博物館
宮崎県総合博物館研究紀要 第37輯	宮崎県総合博物館
宮城県都城市高城町 後藤家文書 史料調査報告書(1)	都城島津邸
宮城県都城市高城町 後藤家文書 史料調査報告書(2)	都城島津邸
宮城県都城市高城町 後藤家文書 史料調査報告書(3)	都城島津邸
公開承認施設認定記念展図録 島津の至宝 文化財と地域博物館の魅力	都城島津邸
平成28年度 都城島津伝承館企画展図録 都城の人びとのくらしと文化	都城島津邸

平成 28 年度 都城島津伝承館 特別展図録 武士のたしなみ— 「天下布武」から「文武両道」へ —	都城島津邸
都城島津家伝承館史料集 第六 号「都城島津家役所日記 六」	都城島津邸
鹿児島大学総合研究博物館年報 NO15 2015	鹿児島大学総合研 究博物館
鹿児島大学埋蔵文化財調査セン ター調査報告書 第 13 集 脇 田亀ヶ原遺跡 桜ヶ丘団地 E - 8・9 区 (95 - 6 医学部付属病 院 MRI - CT 装置棟増築地)	鹿児島大学埋蔵文 化財調査センター

4 資料の貸出

本年度の資料の館外貸出（展覧会への出陳等）は、3 件であった。貸出先、展覧会名称、会期、貸出資料等は以下のとおりである。

●わかやま歴史館

「家老たちの城」

平成 29 年 7 月 29 日～9 月 3 日

- | | |
|-----------|-----|
| ・紀州田辺藩城下図 | 1 鋪 |
| ・田辺錦水城絵図 | 1 鋪 |

常設展示

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

- | | |
|-----------------|------|
| ・「陸奥陽之介宗光上書」はじめ | 30 件 |
|-----------------|------|

●九州国立博物館

「水の中からよみがえる歴史

—水中考古学最前線—

平成 29 年 7 月 15 日～9 月 10 日

- | | |
|------|-----|
| ・青磁碗 | 1 口 |
| ・染付碗 | 1 口 |

●和歌山県立自然博物館

「興味津々！深海魚」

平成 29 年 7 月 21 日～8 月 31 日

- | | |
|-------------|-----|
| ・堀田龍之助 水族図譜 | 5 冊 |
| ・畔田翠山 水族志 | 4 冊 |
| ・小原桃洞 魚品図 | 1 冊 |
| ・小原桃洞 魚譜 | 1 冊 |

4. 映像資料概要

本館の常設展示室には、原始・古代・中世・近世・近代の各コーナーに 5 台のビデオ放映器（VTD）と、民俗コーナーに 1 台のビデオプロジェクターを設置している。

VTD は、シリコンディスク使用のパソコンとタッチパネル式の 19 インチモニターを採用し、

モニター画面を手で触れることで映像を選択できるようになっている。

ビデオプロジェクターもシリコンディスク仕様のパソコンと 100 インチの平面スクリーンを設置し、照光式のボタン式スイッチで映像を選択できるようになっている。

映像については、それぞれ 3 分前後の内容を数本収録し、視覚的な紹介をしている。

・常設展示室各コーナー収録番組

原始：弥生時代の太田・黒田遺跡

太田・黒田の銅鐸

大谷古墳の発掘

古代：奈良時代のくらし—木簡はかたる—

古代和歌山の仏教

万葉集—笠朝臣金村の長歌—

大同寺の蔵骨器

中世：柿田（笠田）荘の荘園絵図

中世の遺跡をたずねて

津田監物と鉄砲

雑賀鉢の謎

絵画に見る太田城水責め

近世：あるくみる城下町

和歌山城の門

八代将軍徳川吉宗—その武と雅—

城下町和歌山の文化

紀州藩と茶道

紀州の黒船ディアナ号

近代：昭和初年への旅立ち

—その頃の和歌山は—

戦争で子どもたちまで勤労動員

和歌山大空襲

和歌山城の再建

民俗：雛流し 淡島神社

和歌祭 紀州東照宮

茅の輪祭 伊太祁曾神社

団七踊 岡崎団七踊保存会

木ノ本の獅子舞 木本八幡宮

川平成 30 年度の展望

1. 平成 30 年度事業予定概要

平成 26 年度に博物館の基本的運営方針を策定し、27 年 4 月からウェブサイトにおいて和歌山市立博物館基本的運営方針を公開している。

そして、27 年度から、この基本的運営方針に従って博物館を運営し、点検し、評価を受けて、開かれた博物館をめざして活動している。

なお、今年度は平成 27 年度に策定された「和歌山市教育振興基本計画」に基づき、博物館更新事業として、空調設備の改修を 11 ～ 12 月に行う予定である。それによって、資料を適切な環境で保存管理できるようになるとともに、来館者が快適に観覧できるようにしたい。

常設展

常設展は、開館以来、「資料が語る和歌山の歴史」をテーマに和歌山市域を対象とした通史的な展示を行っている。常設展示室にはコーナー展示といって、2 か月ごとに大幅な展示替えをする展示ケースを 2 か所に設けている。それぞれ年 5 回、下記のとおり展示替えを行っている。

そのほか、玄関ホールでは 7 月 7 日～8 月 19 日に「和歌山大空襲」など、その時々タイムリーなホール展示を開催し、収蔵資料を公開する機会を増やしている。

コーナー展示

- ・ 3 月 27 日～6 月 3 日「和歌祭」・「養翠園」
- ・ 6 月 5 日～8 月 5 日
「和歌山城下の女性たち」・「紀三井寺」
- ・ 8 月 7 日～9 月 30 日
「江戸時代の菓子木型」・
「ここはどこ？和歌の浦周辺の古写真」
- ・ 10 月 2 日～1 月 6 日
「紀州藩士小笠原庄大夫家と小笠原誓至夫一生誕
150 年一」・「和歌海苔の道具」
- ・ 1 月 8 日～3 月 31 日
「絵画にみる米づくり」・「和歌の浦の絵画」

特別展

本年度も昨年度と同じく夏と秋の 2 回、特別展を行う。

夏季特別展は、「和歌山城再発見！」をテーマに 7 月 14 日から 8 月 26 日まで開催する。空襲によって焼失した天守閣の再建 60 周年を記念して、本展では、近世の和歌山城に関する資料を展示し、和歌山城の歴史と文化を明らかにする。

秋季特別展は、「お殿様の宝箱―南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術―」をテーマに、9 月 15 日から 10 月 21 日まで開催する。今年は紀州徳川家 15 代・徳川頼倫が創設した我が国で初めての私設図書館「南葵文庫」の公開から 110 年、紀州徳川家初代・徳川頼宣が元和 5 年（1619）に和歌山に入国してから 400 年目の節目の年にあたる。これらにちなみ、本展では、南葵文庫と紀州徳川家に伝来した美術品を紹介する。

企画展

収蔵資料を中心として、春と冬の 2 回、企画展を開催する。

春季企画展は、「和歌の浦には名所がござる」をテーマに、4 月 21 日から 6 月 3 日まで開催する。平成 29 年に和歌の浦が日本遺産に認定されたのを受け、本展では、和歌の浦を題材にした絵画や絵図、古写真をとおしてその魅力をさぐる。

冬季企画展「歴史を語る道具たち」は、1 月 9 日から 3 月 3 日まで開催する。この展覧会は、市民から寄贈された生活道具や農機具等の民具を展示し、昔のくらしの実態を示すとともに、それらの民具を通じて、人びとの生活の智慧と工夫を理解してもらうものである。本展は、学校教育との連携で、小学校 3 年生の社会科の授業に関連させた企画で、毎年この時期に開催している。

古文書講座

本年度は、古文書講座「加太の古文書を読む」を、第 1 回の 5 月 13 日から毎月第 2 日曜日に連続して実施し、計 10 回の予定である。博物館に寄託されている「向井家文書」などをテキストとし

て、古文書を解説し、加太の歴史に親しんでもらう。

市博講座

教育普及事業として、今年は古文書講座のほか映画上映会、歴史講座を開催する。

夏は7月7日に映画上映会として、映画「和歌山大空襲」と「空襲体験絵巻」を上映し、ホール展示と常設展で展示している空襲関係の資料を解説する。

冬は歴史講座「紀州の武器・武具」をテーマに、次の3回を開催する。

- ・3月2日 「雑賀の兜」
- ・3月9日 「大嶋流の槍」
- ・3月16日 「紀州の鉄砲」

体験学習

教育普及事業の一環として、子どもたちに郷土の歴史・文化への関心を高めてもらうため、本年度は次の6回の体験学習を開催する。

- ・7月28日 むかしの遊びを体験しよう
- ・8月5日 火縄銃の模型をつくろう
- ・8月6日 休館日の博物館を探検しよう
- ・1月12日 むかしの遊びを体験しよう
- ・2月16日 レコードで音楽を聴こう
- ・2月23日 むかしの遊びを体験しよう

史跡散歩

史跡散歩は市内の史跡や文化財に親しんでもらうため、毎年開催している。今年は11月10日に「和歌山城を歩く」と題して史跡和歌山城とその周辺をめぐる。

校区探検

当館では、公立学校の週5日制の導入に対応して、市内小学校及び校区子どもセンターと協力し、校区内の歴史的スポットを見学する校区探検を開催している。本年度は秋に開催予定である。

調査研究

本年度は、特別展「和歌山城再発見！」及び「

お殿様の宝箱―南葵文庫と紀州徳川家伝来の美術―」に関する調査研究を中心に行い、その成果はそれぞれの展示図録に反映させる。

また、特別展の年次計画に基づいて、平成30年度の展覧会の調査を進めていく。それ以降の年度に開催する予定の展覧会についても基礎調査を開始する。

そのほか、館蔵資料及び関連資料の調査研究を進め、その成果を『研究紀要』に掲載する。

資料収集

展示資料購入費によって、計画的に資料の購入を行っている。本年度は、岩瀬広隆筆「年中行事図」、徳川治宝筆「牡丹之図」などの購入を予定している。また、収蔵資料の充実を図るために、資料の寄贈・寄託を積極的にすすめていく。

資料の保存環境を維持するため、当館では毎年、燻蒸（消毒）を実施している。本年度は、3階特別収蔵庫（一般）及び仮収蔵庫等の燻蒸を、6月18日～25日に実施する。

市史関係資料の管理

保管している市史関係資料の整理を進め、資料的価値が高い文書史料の翻刻を行い、『和歌山市史研究』47号に掲載する。

博物館実習

各大学からの依頼を受けて、毎年、博物館実習生を受け入れている。本年度は、8月21から25までの5日間、博物館実習を行う。なお、受け入れに関する要項は、前掲の「博物館実習生受け入れに関する内規」のとおりである。

2. 平成30年度博物館当初予算

歳出

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	節	
				区分	金額
総務使用料	1,150	1,150	0	博物館使用料	1,150
基金収入	2	2	0	博物館振興基金収入	2
雑入	2,314	1,914	400	博物館図録等販売収入	2,314
総務費交付金	4,032	0	4,032	文化スポーツ費交付金	4,032
総務債	39,700	0	39,700	文化スポーツ債	39,700

歳入

(単位 千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳				節	
				特定財源			一般財源	区分	金額
				国県支出金	地方債	その他			
11 博物館費	141,797	104,633	37,164	4,032	39,700	3,466	94,599	1 報酬	140
								2 給料	21,909
								3 職員手当等	13,213
								4 共済費	6,436
								8 報償費	290
								9 旅費	967
								11 需用費	14,335
								12 役務費	1,974
								13 委託料	26,725
								14 使用料及び賃借料	685
								15 工事請負費	53,000
								18 備品購入費	2,056
								19 負担金、補助及び交付金	51
								25 積立金	2
								27 公課費	14

IV資料

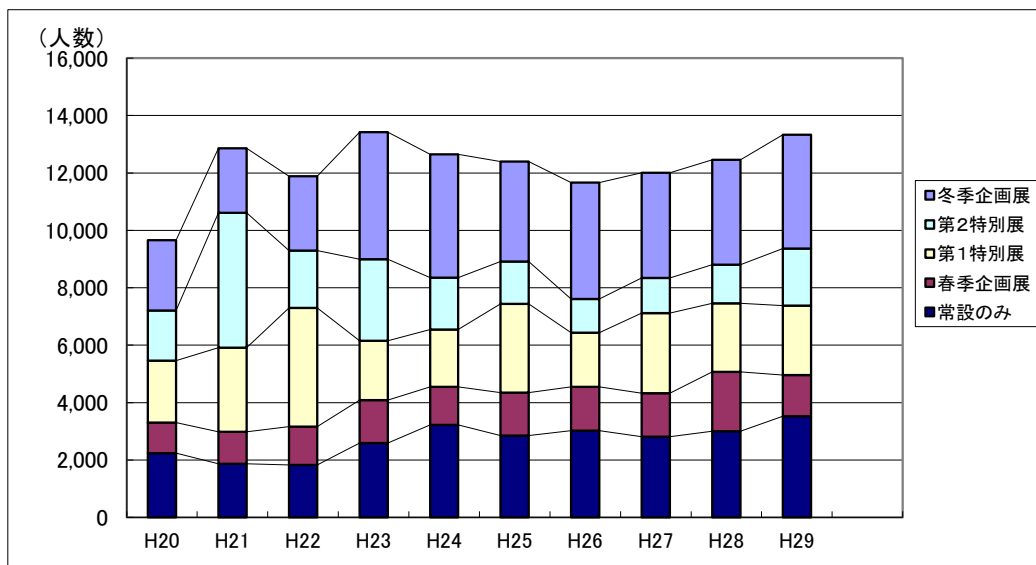
○入館者の動向

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

		開館 日数	個人			団体			無料入館 者(含団体)	合計	1日 平均	備考
			一般 / 大	小中高	小計	一般 / 大	小中高	小計				
平成29年	4月	26	134	0	134	0	0	0	222	356	13.7	企画展 4/22～6/4
	5月	25	340	0	340	0	0	20	720	1,080	43.2	
	6月	20	212	0	212	0	0	26	249	487	24.4	
	7月	26	362	0	362	34	0	0	740	1,102	42.4	特別展 7/22～8/27
	8月	27	457	0	457	0	0	41	1,128	1,626	60.2	
	9月	26	173	0	173	34	0	29	336	538	20.7	
	10月	26	236	0	236	21	0	11	639	886	34.1	特別展 10/21～11/26
	11月	25	378	0	378	0	0	69	1,711	2,158	86.3	
	12月	24	90	0	90	0	0	30	303	423	17.6	
平成30年	1月	24	124	0	124	0	0	3	1,520	1,647	68.6	企画展 1/10～3/4
	2月	25	154	0	154	0	0	5	2,100	2,259	90.4	
	3月	26	231	0	231	0	0	8	532	771	29.7	
合計		300	2,891	0	2,891	89	0	242	10,200	13,333	44.4	

○過去 10 年間の入館者数の変化

	常設のみ	春季企画展	第1 特別展	第2 特別展	冬季企画展	総入館者数
平成 20		近世書画の美	岩瀬広隆	南紀男山焼	歴史を語る道具たち	
	2,242	1,063	2,152	1,752	2,449	9,658
平成 21		発掘土器ドキ！昔の和歌山	南方熊楠の世界	写真に見る戦後の和歌山	歴史を語る道具たち	
	1,865	1,121	2,928	4,696	2,251	12,861
平成 22		紀州藩の士族たち	紀州徳川家のお姫様	よみがえる和歌山の縄文世界	歴史を語る道具たち	
	1,831	1,335	4,131	2,001	2,590	11,888
平成 23		心の旅・全国の郷土玩具展	祇園南海とその時代	川端龍子と和歌山	歴史を語る道具たち	
	2,589	1,499	2,067	2,837	4,427	13,419
平成 24		新収蔵庫展 博物館のたからもの	ヘンリー杉本とその時代	華岡青洲の医塾 春林軒と合水堂	歴史を語る道具たち	
	3,226	1,319	1,998	1,805	4,301	12,649
平成 25		博物館へ花見に行こう	市電が走っていた街	海人の世界	歴史を語る道具たち	
	2,851	1,496	3,093	1,474	3,487	12,401
平成 26		わかやま歴史再発見	江戸時代を観光しよう	荘園の景観と絵図	歴史を語る道具たち	
	3,025	1,525	1,881	1,175	4,062	11,668
平成 27		古文書から探れ！	表千家と紀州徳川家	近代スポーツと国民体育大会	歴史を語る道具たち	
	2,806	1,525	2,787	1,223	3,661	12,002
平成 28		徳川吉宗と紀州の明君	城下町和歌山の絵師たち	玉津島一衣通姫と三十六歌仙一	歴史を語る道具たち	
	3,004	2,062	2,398	1,336	3,572	12,372
平成 29		紀州の風景－和歌の浦を中心に－	幕末の紀州藩	美尽し善極める－駿河屋の菓子木型－	歴史を語る道具たち	
	3,525	1,434	2,424	1,983	3,967	13,333

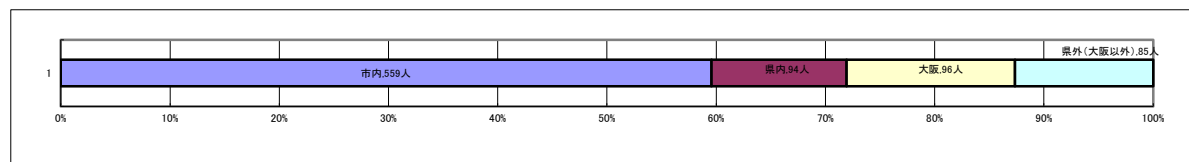


○アンケートの集計

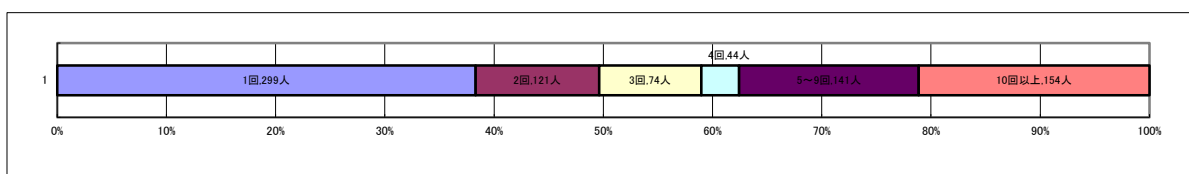
平成 29 年度の 2 回の特別展開催時に回収されたアンケートの集計結果を提示する。

期間中の総入館者は 4,407 名、アンケート数は 668 通（回収率：15.1％）。

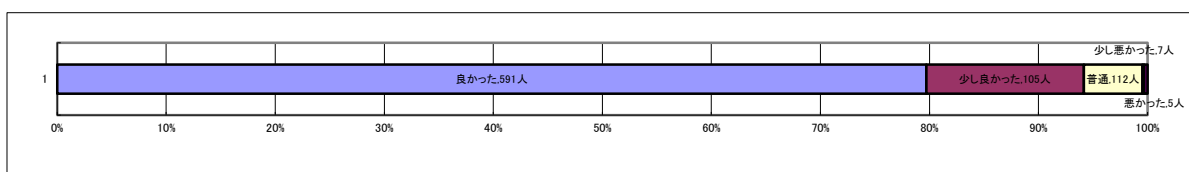
1. どちらから来られましたか？



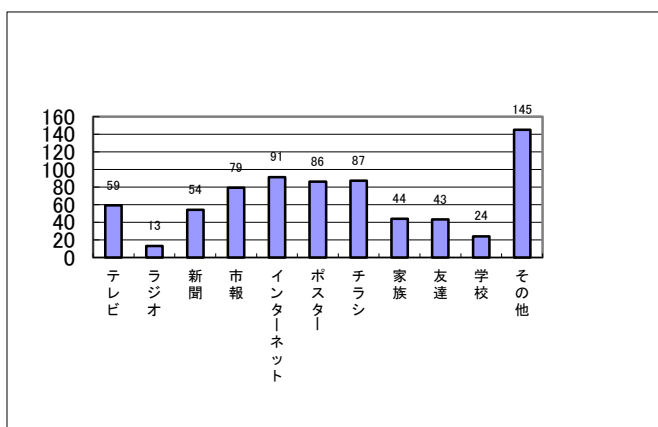
2. 来館は何回目ですか？



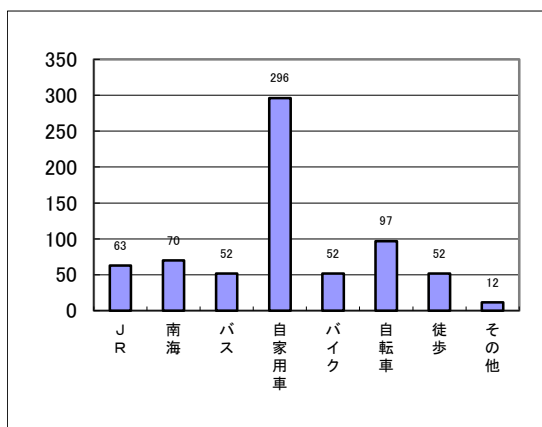
3. 展示はいかがでしたか？



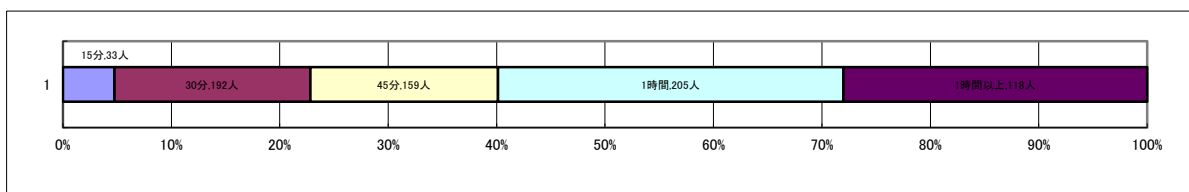
5. どのようにしてお知りになりましたか？



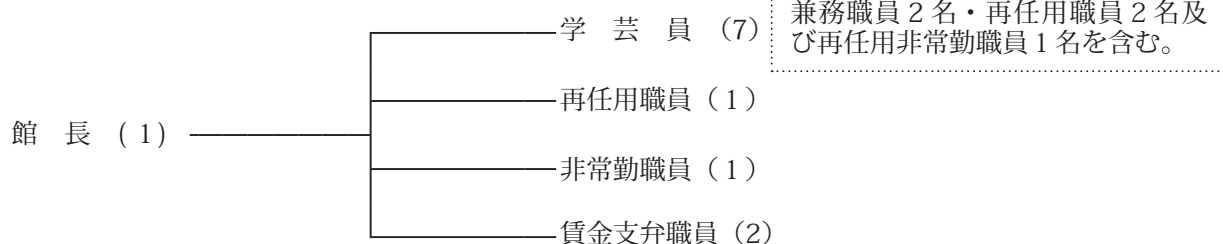
6. 利用された交通機関は？



7. 利用時間は？



○館機構



○博物館職員(平成 30 年 4 月 1 日現在)

館長	近藤 壮(平成30.4.1着任)
学芸員	山下 奈津子(兼務職員)
学芸員	佐藤 顕
学芸員	小橋 勇介(平成30.4.1着任)
学芸員	大木 要 (兼務職員)
学芸員	太田 宏一(再任用職員)
学芸員	額田 雅裕(再任用職員平成30.4.1着任)
学芸員	高橋 克伸(非常勤職員)
事務主任	北口 繁人(再任用職員平成30.4.1着任)
非常勤職員	宇治田良一
賃金支弁職員	矢田 美帆
賃金支弁職員	湯川 政美(平成29.7.1着任)

○退任職員

館長	額田 雅裕(平成30.3.31退任)
庶務班長	北口 繁人(平成30.3.31退任)
非常勤職員	民谷 麻由美(平成30.3.31退任)
賃金支弁職員	西浴 智美(平成29.6.30退任)

○和歌山市立博物館協議会委員名簿

◎印 会長

○印 副会長

平成 30 年 4 月 1 日現在

	氏 名	役 職	備 考
学校教育の関係者	宮本 茂	和歌山市立小学校長会会長	H28・12・18 再任
	北垣 有信	和歌山市立中学校長会会長	H28・12・18 再任
社会教育の関係者	楠山 繁	和歌山文化協会 会長	H28・12・18 再任
	南 正晃	和歌山陸上競技協会 専務理事	H28・12・18 再任
家庭教育の向上に資する活動を行う者	堰本 信子	和歌山市婦人団体連絡協議会 会長	H28・12・18 再任
学識経験のある者	上村 雅洋	和歌山大学経済学部名誉教授	H28・12・18 再任
	仲山 友章	日本放送協会和歌山放送局局長	H28・12・18 再任
	島津 俊之	和歌山大学教育学部教授	H28・12・18 再任
	高橋 隆博	関西大学名誉教授	H28・12・18 再任
	○ 千森 督子	和歌山信愛女子短期大学教授	H28・12・18 再任
	西本 昌弘	関西大学文学部教授	H28・12・18 再任
	◎ 藤本 清二郎	和歌山大学名誉教授	H28・12・18 再任
	古川 祐典	和歌山市議会議長	H28・12・18 再任

○和歌山市立博物館条例

昭和60年7月18日

条例第17号

改正 平成元年12月21日条例第66号
平成9年3月27日条例第18号
平成12年3月27日条例第24号
平成19年3月22日条例第13号
平成20年12月24日条例第68号
平成23年12月19日条例第40号
平成24年3月23日条例第23号
平成26年3月24日条例第48号
平成27年3月19日条例第31号
平成30年3月23日条例第6号

(設置)

第1条 本市は、郷土の歴史、文化遺産等に関する市民の理解と認識を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)

第18条の規定に基づき、博物館を設置する。
(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
和歌山市立博物館	和歌山市湊本町3丁目2番地

(事業)

第3条 博物館は、法第3条第1項に定める事業
その他必要な事業を行う。

(入館料)

第4条 常設展の入館料の額は、100円(20人以上の団体にあっては、1人につき80円)とする。

2 特別展の入館料の額は、2,000円とする。
ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、減額することができる。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる者の入館(常設展に係るものに限る。)は、無料とする。

(1) 学校(学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校(大学及び高等専門学校(第4学年及び第5学年

に限る。))を除く。)をいう。第4号において同じ。))に在学する学生、生徒、児童又は幼児(同号において「学生等」という。))

- す
- (2) 認定こども園(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号。第4号において「認定こども園法」という。))第2条第6項に規定する認定こども園をいう。第5号において同じ。))の園児(以下この項において単に「園児」という。))
- (3) 小学校就学前の者(第1号に規定する幼児及び園児を除く。))
- (4) 学生等又は園児を教育課程に基づく教育活動又は保育に係る活動において引率する当該学生等が在学する学校又は当該園児が在籍する幼保連携型認定こども園(認定こども園法第2条第7項に規定する幼保連携型認定こども園をいう。次号において同じ。))の教員(学校教育法第7条(認定こども園法第26条において準用する場合を含む。))に規定する教員をいう。))
- (5) 保育所に入所している児童又は園児を保育に係る活動において引率する当該児童が入所している保育所の保育士又は当該園児が在籍する認定こども園(幼保連携型認定こども園を除く。))の保育に従事する職員

4 入館料は、前納しなければならない。

(入館料の減免)

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、入館料を減額し、又は免除することができる。

(資料の特別使用)

第6条 博物館資料について、刊行物に掲載し、又は展示することを目的として、撮影し、若しくは複写し、又は博物館資料に係る写真原板等の貸与若しくは画像等の提供を受けること(以下「特別使用」という。))をしようとする者は、あらかじめ教育委員会に申請し、その許可を受けなければならない。

- 2 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしない。
- (1) 博物館資料の保全上支障があるとき。
 - (2) 博物館の管理上支障があるとき。
 - (3) 特別使用に係る博物館資料が寄託されたものである場合に、前項の規定による申請をする者（次号において「申請者」という。）が当該博物館資料を寄託した者の同意を得ていないとき。
 - (4) 特別使用に係る博物館資料に著作権者がある場合に、申請者が当該著作権者の同意を得ていないとき。
 - (5) その他教育委員会が不相当と認めるとき。
- 3 教育委員会は、第1項の許可に必要な条件を付することができる。
- 4 第1項の許可を受けた者（次条において「特別使用者」という。）は、別表に定める額の使用料（以下「特別使用料」という。）を前納しなければならない。
- 5 市長は、学術研究その他の公益性の高い目的を達成するために特別使用をする必要があると認めるときは、特別使用料を免除することができる。
- （特別使用の許可の取消し等）
- 第7条 教育委員会は、特別使用者が前条第3項の規定により許可に付された条件に違反したときは、当該許可を取り消し、又は特別使用を制限し、若しくは停止させることができる。
- （入館料等の不還付）
- 第8条 既納の入館料及び特別使用料は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。
- （入館等の制限）
- 第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。
- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある者
 - (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物又は動物を携帯する

者

- (3) 建物又は附属設備若しくは備品（以下「建物等」という。）を損傷し、又は滅失するおそれがある者

- (4) 次条の規定に違反した者
（行為の禁止）

第10条 博物館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生ずるおそれがある行為をすること。
- (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為をすること。
- (3) 建物等を損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれがある行為をすること。
- (4) 所定の場所以外の場所で飲食し、又は喫煙すること。
- (5) その他管理上支障がある行為をすること。
（損害の賠償）

第11条 何人も、建物等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。
（博物館協議会の設置）

第12条 法第20条第1項の規定に基づき、和歌山市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（委員の任命の基準）

第13条 協議会の委員の任命は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちからこれを行うものとする。

（委員の定数）

第14条 委員の定数は、15人以内とする。

（委員の任期）

第15条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第16条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたとき

は、副会長がその職務を代理する。

(会議)

第17条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、必要に応じて開催するものとする。

3 会長は、協議会を招集しようとするときは、あらかじめ会議の日時、場所及び付議すべき事項を示して委員に通知しなければならない。ただし、急施を要する場合は、この限りでない。

4 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

5 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第18条 協議会の庶務は、産業交流局長及び産業交流局文化スポーツ部の職員に補助執行させる。

(規則への委任)

第19条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表 (第6条関係)

特別使用料

区分	単位	使用料
博物館資料の撮影又は複写(博物館資料の貸与を伴うものを含む。)	1点1回	2,050円
博物館資料に係る写真原板の貸与	1枚1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報を収録した光ディスク等の貸与	1画像1回	2,050円
博物館資料に係る写真の提供	1枚1回	2,050円
博物館資料に係る画像情報の電磁的方法による提供	1画像1回	2,050円

備考 複数の物で構成されるものであっても、博物館資料を分類する上で1点として取り扱うものは、1点とする。

○和歌山市立博物館条例施行規則

昭和60年11月1日

教委規則第3号

改正 昭和61年10月6日教委規則第4号

昭和62年3月31日教委規則第22号

平成3年3月30日教委規則第15号

平成4年3月2日教委規則第3号

平成4年4月8日教委規則第7号

平成5年3月29日教委規則第2号

平成8年3月22日教委規則第11号

平成12年3月31日教委規則第28号

平成19年3月15日教委規則第4号

平成21年3月19日教委規則第5号

平成24年2月15日教委規則第3号

平成29年2月24日教委規則第8号

平成30年3月23日教委規則第12号

(趣旨)

第1条 この規則は、和歌山市立博物館条例(昭和60年条例第17号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間等)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。

2 教育委員会が必要と認めるときは、前項の規定にかかわらず開館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日)

(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日の翌日

(3) 12月29日から翌年1月3日まで

(入館料の納付)

第4条 条例第4条の規定により、入館料を納め

た者は、入館券（第1号様式）の交付を受けなければならない。

（特別展の入館料）

第5条 条例第4条第2項ただし書の規定により減額する場合における特別展の入館料の額は、特別展に要する費用の額その他の事情を考慮してその都度市長が定める。

（入館料の減免）

第5条の2 条例第5条に規定する特別の理由があるときは、次の各号に掲げる場合とし、同条の規定により減額する入館料の額又は免除は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。次条第2項において同じ。）の交付を受けている者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びそれらの者の介護人が介護のために入館するとき 免除
- (2) 本市が発行する老人優待利用券の交付を受けている者が入館するとき 免除
- (3) その他市長が特別の理由があると認めるとき市長が必要と認める額

（入館料の減免申請）

第6条 条例第5条の規定による入館料の減額又は免除を受けようとする者は、入館料減額、免除申請書（第2号様式）を市長に提出しなければならない。

- 2 前項の規定は、前条第1号又は第2号に該当する者については、適用しない。この場合において、同条第1号又は第2号に該当する者は、入館の際に同条第1号又は第2号に規定

する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は老人優待利用券を提示しなければならない。

（入館料の還付）

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により入館料を還付するものとする。

- (1) 天災地変その他入館しようとする者の責めに帰することのできない特別な理由により入館できないとき。
- (2) その他特別な理由があると認めたとき。

（入館者の遵守事項）

第8条 入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示している博物館資料（館長が特に指定したものを除く。）に触れないこと。
- (2) 許可を受けないで展示している博物館資料の模造、模写又は撮影をしないこと。
- (3) 展示室でインク、墨汁等を使用しないこと。
- (4) その他係員の指示に従うこと。

（資料）

第9条 収集した資料は、資料番号を付番し、博物館資料として整理するものとする。

（資料の貸出し）

第10条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、学術上の調査研究又は教育の普及のために使用され、かつ、取扱上の安全性が確保されると認められるとき、又は特別使用のために必要と認められるときは、この限りでない。

- 2 前項ただし書の規定により博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出許可申請書（第3号様式）を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。この場合において、館外貸出しに係る博物館資料が寄託されたものであるときは、博物館資料貸出許可申請書に、当該博物館資料の寄託者の承諾書を添付しなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定により博物館資料の館外貸出しを許可したときは、当該申請者

に、博物館資料貸出許可書（第４号様式）を交付する。

（特別使用許可の申請及び許可）

第11条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、博物館資料特別使用許可申請書（第5号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、特別使用の許可をしたときは、博物館資料特別使用許可書（第6号様式）を当該申請者に交付する。

（特別使用料の納付）

第12条 特別使用者は、博物館資料特別使用許可書の交付を受ける際に特別使用料を納付しなければならない。

（特別使用料の免除申請）

第13条 条例第6条第5項の規定により特別使用料の免除を受けようとする者は、第11条第1項に規定する申請の際に、博物館資料特別使用料免除申請書（第7号様式）を市長に提出しなければならない。

（特別使用料の還付）

第14条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条ただし書の規定により特別使用料を還付するものとする。

- (1) 特別使用者の責めに帰することのできない特別な理由により特別使用ができないとき。
- (2) その他特別な理由があると認めたとき。

（特別使用者の遵守事項）

第15条 特別使用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等は、条例第6条第3項の規定により教育委員会が特別許可の条件として貸与期間を指定したときは、その期間の末日までに返還すること。
- (2) 特別使用に伴い貸与を受けた博物館資料及び写真原板、光ディスク等を損傷し、又は滅失しないように適正に管理すること。

(3) その他教育委員会の指示に従うこと。

（雑則）

第16条 この規則で定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

平成29年度
和歌山市立博物館館報 33

平成30年 7 月 1 日発行

編 集 和歌山市立博物館
和歌山市湊本町 3 丁目 2
TEL 073-423-0003
FAX 073-432-9040

発 行 和歌山市
和歌山市七番丁23